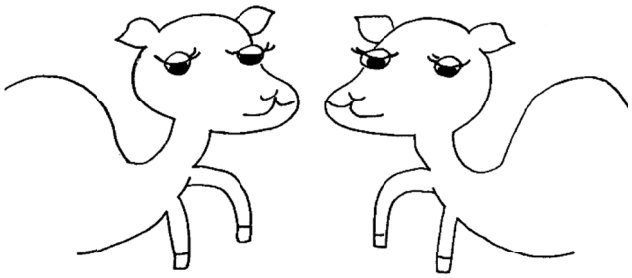
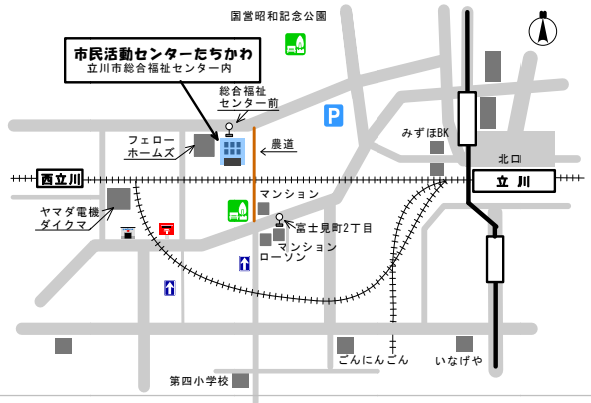
# 平成27（2015）年度

# 市民活動センターたちかわ
# 事業報告



## 市民社会を拓（ひら）きたい





◆問合せ◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会

市民活動センターたちかわ

〒190-0013 立川市富士見町2-36-47

TEL:042-529-8323 FAX:042-529-8714

E-mail shimin@tachikawa-shakyo.jp

http://www.tachikawa-shakyo.jp/skct/

(月)-(金) 8:30-19:00

(土) 8:30-17:00

※(日)・祝日はお休みです


◆行き方◆ 交通アクセス

（徒歩で行く） JR立川駅北口より徒歩15分 または JR西立川駅より徒歩8分

（バスで行く） 立川駅北口(10)(11)バス停より乗車 「富士見町2丁目」下車～農道を通って 徒歩3分

（バスその2） くるりんバス みなみくるりん 「総合福祉センター前」下車 徒歩0分

# 目　　次

■はじめに ---------- 3

■1 章　市民活動センターたちかわとは

Ⅰ.市民活動センターたちかわの使命と基本方針 ---------- 4
Ⅱ.立川のまちの特性 ---------- 4
Ⅲ.市民活動センターたちかわの描く「立川市民像」 ---------- 5
Ⅳ.市民活動センターたちかわの主なサービス ---------- 5
Ⅴ.市民活動センターたちかわの特色 ---------- 7

■2 章　平成 27 年度の活動

Ⅰ.1 年間の相談集計結果と特徴 ---------- 8
Ⅱ.センター運営の活動の柱 ---------- 17
1.市民参画の運営委員会によるセンター運営 ---------- 17
2.協働の推進 ---------- 20
3.ボランティア・市民活動支援 ---------- 36
4.学校介助員 ---------- 49
5.その他 ---------- 50
Ⅲ.平成 27 年度の市民活動センター事業を振り返って ---------- 52
Ⅳ.平成 28 年度に向けて ---------- 55
Ⅴ.平成 27 年度収支決算(概略) ---------- 57

■3 章　資料 ---------- 59

Ⅰ.平成 27年度登録団体 ---------- 59
Ⅱ.平成 27年度登録サロン ---------- 65

# はじめに

## 市民活動センターたちかわが誕生したわけは

社会制度の規制緩和や格差社会、少子高齢化といった人口構造や家族機能の変容など、社会環境が激しく変化している。

雇用環境の悪化やひきこもりなどの新たな社会問題が表出し、行政からの一律的サービスだけでは解決できない多様な生活課題も浮き彫りとなっている。

地球環境の変化による生命の危機が現実味を帯び、巨大災害も頻発している。

市民・行政・企業がそれぞれの力を引き出しあいながら、持続可能な社会を創っていかなければ、未来は構築できないことに私たち市民は気付きはじめている。

ひとりひとりの市民がどう社会に参画していくかが重要な時代である。

一方、阪神・淡路大震災を契機としたボランティア活動への関心の高まりや、NPO 法（特定非営利活動促進法）の制定、さまざまな市民活動団体の登場など、ボランティア・市民活動のあり様も多様化している。

こうしたことを背景に、センターに寄せられる相談や情報も実に幅広く多様となってきている。それに伴い、期待される役割や事業、サービスのあり方も変化してきている。

多様性に応えられ、社会課題の解決に貢献し、たくさんの人と活動をつなぐ、市民にとって真に必要とされるセンターであるために、市民活動センターたちかわ（以下センターという）は、平成 15 年 4 月に「立川ボランティアセンター」からその機能拡大し、「市民活動センターたちかわ」として再スタートするに至った。

# １章　市民活動センターたちかわとは

## Ⅰ．市民活動センターたちかわの使命と基本方針

【使命】

市民社会を拓きたい

【基本方針】

私たちは「市民」を、次のように思い描いています

1.自分で考えて行動する
2.社会のために行動する
3.地球のために行動する

私たちの考える市民社会とは、多様な人々が連携し、社会の課題解決に向けて取り組み、誰もが希望を持って生活できる社会である、と考えています。

## Ⅱ．立川のまちの特性

○人口：立川市では、平成 27 年度から平成 36 年度までの 10 年間の計画である立川市第 4 次長期総合計画が策定され、その中で将来人口推計を表している。これによると、平成 27(2015)年１月１日現在の立川市の総人口は、179,090 人。平成 25(2013)年１月１日現在の住民基本台帳登録人口(外国人を含む。)を基準人口とし、コーホート要因法を用いて将来人口の推計を行っている。目標年次である平成 36(2024)年度(平成 37 年１月１日)の総人口は、174,592 人となり、4,498 人減少する見通しとなっている。

● 65 歳以上の人口は、平成 27(2015)年１月１日現在、41,142 人で、総人口に対して占める割合は約 23.0%となっている。今後もその人数と割合は増加し続け、平成 36(2024)年度(平成 37 年１月１日)には、45,375 人、約 26.0%になるという予測結果となった。15 歳から 64 歳までの人口は、平成 27(2015)年１月１日現在、115,525 人で、総人口に対して占める割合は約 64.5%となっている。今後もその人数と割合は減少し続け、平成 36(2024)年度(平成 37 年１月１日)には、109,517 人、約 62.7%になるという予測結果となった。

● 平成 37(2025)年度以降についても、引き続き総人口が減少するとともに、少子化、高齢化がさらに進展するものと予測される。※1

○面積：24.36 平方キロメートル。※2

○地域的特色：東京都の中央西よりにあって、都心から 40㎞圏、東京駅から電車で 50 分程度の位置にあり、八つの市に隣接している。地形的には、市域南端の日野市との境に多摩川が流れ広々とした河川敷を構成し、河岸段丘崖に緑の多い傾斜地があるほかは、概ね平坦な地形である。市全域が都市計画区域に指定されている。

また市内にはJR中央線など東西方向に5路線の鉄道が通るほか、多摩都市モノレールの開通により南北方向の交通も確保され、立川駅はあらゆる方向からのアクセスが容易な多摩地域の交通の中心となっている。その結果、立川駅を中心として商業・飲食施設や事務所施設などが集積、その周辺に密度の高い市街地を形成する一方、国営公園や市北部地域の農地・屋敷林・玉川上水など、緑とオープンスペースも比較的多く残されており、近代的な町並みと郊外的なうるおいが共存する、多様な面のある地域特性を持っている。※4

※1,3,4 資料出展：立川市の『第4次長期総合計画』（平成27年4月）より

※2 立川市の面積：平成27年3月6日付、国土交通省国土地理院より公表された「全国都道府県市町村別面積」により、本市の面積は24.38㎢から24.36㎢になった。

## Ⅲ. 市民活動センターたちかわの描く「立川市民像」

先に示した「第4次長期総合計画」の策定あたり、市では『市民意向調査報告書』（平成25年3月）を実施している。これによれば、立川市を「住みよい」または「どちらかというと住みよい」と答えた人の合計が全体の85.4%を占めており、さらに、今後の居住意向について回答の上位「当分の間、住んでいたい」と「永住したい」の両者を合わせるとほぼ90%であり、過去の調査と比べて「永住したい」が増加し、市民の定住意向は強まっていることが窺える。※5

また、同調査の中で地域コミュニティの推進について「参加している地域活動や催し」を尋ねた項目をみると、「自治会活動」（27.9%）、「趣味・娯楽などのグループ活動」（11.3%）、「スポーツなどのクラブ活動」（10.4%）、「PTA活動」（7.6%）、「地域の清掃・美化活動」（6.8%）が上位５項目であるものの、「参加していない」が50.8%と最も多い結果となっている。※5

※5 「立川市第４次長期総合計画」策定に向けて～平成24年11～12月に市民計2,000人対象実施

定住意向の比率は高いが、一方で平成25年3月に実施した調査によると、「福祉活動による助けあい・支えあいができていると感じている市民の割合」は 47.7%、「地域活動への参加している市民の割合」は36.2%にとどまっている、このような特色を持つ立川市民に対して、市民活動センターたちかわとしては今後に向けてどのような「立川市民像」を目指して事業を行っていくべきか。

私たちは、市民がお互いにつながっているという意識を拓いていくことを大切にしたいと考えた。ここでいう「つながり」とは、人々が自由な意思に基づき、協力し、助けあい、出会いを楽しみながら、自分たち自身で住みよいまち・社会を形成していくために必要なものである。

人々がつながりを形成している場としての、企業(会社)、学校、サークル、市民活動グループ・団体、地域自治会、PTA など、これまであるつながりに加え、新たなつながりをつくっていくことの出来る姿が、市民活動センターたちかわの描く市民像である。

## Ⅳ. 市民活動センターたちかわの主なサービス

**☆総合相談機能を持って、様々な市民活動の支援、サービスを行っています。**

**■『協働の推進』・・・・・（協働支援センターの機能）**

○協働の仕組みづくり
・行政とNPOや企業とをつなぐコーディネート
○市民活動団体との協働事業や地域イベント開催を支援
・「たちかわ楽市」
・各種企画委員会のスタッフ派遣、市民活動団体の出展取りまとめ等
○企業のCSR(社会的責任)活動への支援
・「ふれあいミュージックフェスティバル」
・社員のボランティア活動コーディネート
・新任研修への協力
・企業の社会貢献活動のコーディネート
○地域住民との連携による学校を核とした福祉学習の推進
・市内小中学校・高校、各種学校の授業を地域の住民や機関、市民活動団体とともに実施
○防災・減災活動への取り組み
・東京都・立川市合同防災訓練
・災害対策ネット会議
・立川市災害ボランティアネットとの連携
○共生社会推進のための啓発活動
・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
・共生社会推進のための啓発イベント

**■『市民活動支援』・・・・・(ボランティアセンター・NPO支援センターの機能)**

○日々の市民活動に関する相談
・「ボランティアしたい」「サポートしてくれる市民活動団体を探している」「NPO法人を立ち上げるにはどうしたらいいのか」「立川でイベントをするので広報周知してほしい」などの相談対応
○ボランティア・市民活動を始めるきっかけとする講座の開催
・おもしろボランティア大学の開催
・楽市案内人ボランティア
・待っています。地域の仲間と出会いのパーティーの開催
○市民活動体験プログラム
・夏!体験ボランティア
○NPO法人設立ガイダンス
・NPO法の解説や法人化の意義、設立に向けた手順や事務についてのガイダンスを定例開催
○市民活動団体マネジメント講座の開催
○活動資金の助成
・立川市社会福祉協議会市民活動助成　　市民活動団体の立ち上げまたは活動資金を支援
・各種民間団体の助成情報の周知
○「支えあいサロン」活動の支援
○グッドネイバー運動推進団体の支援

・「よき隣人」をキーワードに、小地域単位での住民主体のまちづくりを進める、市内４ヵ所(柴崎・栄・若葉・西砂一番)の団体の支援

○情報の受発信

・情報誌『市民活動センター★たちかわ通信』の発行

・『市民活動センター登録団体紹介BOOK』及び『ボランティア紹介冊子』の発行

・市民活動情報コーナーの設置

・ホームページの運営と管理　各団体の活動情報の発信

・紙媒体による情報収集、インターネットでの情報検索ができるコーナーの運営

・市民活動団体リスト

○活動スペースの貸し出し

○機材の貸し出し

・印刷機、拡大印刷機、コピー機、紙折り機、情報検索用パソコン、図書など各種備品の貸し出し

・他の施設、団体と共有できる物品の貸し出し

　プロジェクター、スクリーン、マイク、アンプ、ＤＶＤプレイヤー

・コミュニティ備品の貸し出し

　和太鼓、綿菓子機、ポップコーン機、テント

○ボランティア保険および行事保険の相談や加入受付

○ボランティア情報提供希望者及び登録団体の支援

## Ⅴ. 市民活動センターたちかわの特色

「市民活動センターたちかわ」は市民で構成される15名の運営委員と職員を合議型運営方式で運営している。

ボランティアや市民活動団体を支援すること(中間支援)を通して、社会のさまざまな課題解決に貢献することを目指し、日々、市民や団体を『つなぎ』、『育み』、『拓く』役割を担っている。

また、私達のセンターの特色といえるのは、いろいろな所から寄せられる多様な相談を大事にしていることである。漠然とした行き場のない相談の中に、新たな社会の課題が見え隠れし、市民発の活動として取り組む意義のある案件が多く含まれているからである。

市民や市民活動団体から聞こえてくる多くの声から市民社会の見えないNeedsやwantsを探り『協働の推進』、『ボランティア・市民活動支援』の2つのキーワードからなる事業を推進していく。地域や市民に根ざしたセンターを目指して、相手の声を直接に聞き、コミュニケーションを取りながら適切な役割を担うという手法を積極的に取り入れている。

設立から13年が経過したが、センターは現状に満足することなく、「これからの公共」について発信力を持つ大阪ボランティア協会やせんだい・みやぎNPOセンターなど、各地の先進事例を学びながら、多くの市民から愛される市民活動センターとなるよう取り組んでいく。[※1]

[※1]大阪ボランティア協会　http://www.osakavol.org/

せんだい・みやぎNPOセンター http://www.minmin.org/

# ２章　平成２７年度の活動

## Ⅰ．１年間の相談集計結果と特徴

ボランティア活動やNPO、地域活動に関する相談を市民活動センターたちかわ窓口や、地域で事業を実施する中で受け付けた。相談内容に応じて、情報提供、課題整理のお手伝い、人や機関をつなぐコーディネート、生活課題解決のための個別相談などにつなげた。

相談内容も多岐に渡るため、個々の相談に応じて、その場面で必要な役割と支援を見極めることと、相談者である市民自身が持つ解決力を引き出すことを、センターの相談受付においては大切にしている。また、寄せられる相談から、その時々の社会課題、地域課題、市民活動に関する現状が浮かび上がってくる。これらの相談内容は、今後のセンター事業を方向付ける基盤となっている。寄せられる相談等の大きな特徴としては、以下の４点があげられる。

①「本当に役立つ情報」が求められている

センターならではの入手可能な「具体的な人となりや活動が分かる情報」や「この辺りの地域で私たちが使える社会資源は何か」といった、きめ細やかな情報が求められている。情報を一面的に捉えるのではなく、新たな可能性を引き出す「役立つ情報」へと捉えていきたい。

②多様なつながりをつくる相談が増加している

障害者施設と企業の連携､企業の社会貢献や創業を支援するためのネットワークづくりなど、団体の活動分野を越えた多様なつながりをつくるための支援が増えている。立川というまちに密着したセンターなので、多様な連携によって生まれる市民への波及効果を意識しながら、連携していく姿勢を大事にしたい。

③地域に密着した活動が掘り起こす課題への対応

今年度新設された地域づくり係に配属された、地域福祉コーディネーターが行い、必要に応じて市民活動センターと連携し対応することは重要となっていく。

④新たな専門機関との連携

介護保険のケアマネジメントに続くように障害のある方への相談支援ケアマネジメントが整備されつつある。また精神医療福祉の分野でも入院治療中心から地域生活中心へと基本的政策の転換が図られてきており、ひきこもりの方や、精神的ダメージを強く受けている方等からの相談など、援助における専門性を必要とされる場面も増えてきている。センターとしての対応の限界点を見極めると同時に、新たな専門機関との連携が必須な状況である。

### (1)市民活動センターたちかわに寄せられた相談

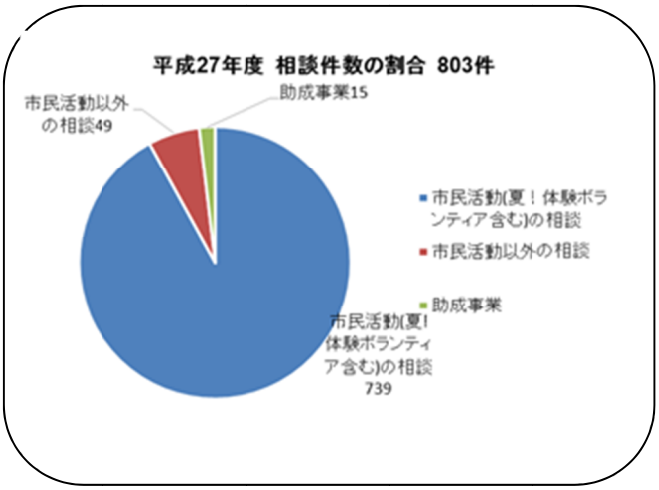
【相談件数：センターの窓口で受けた相談の件数】　803 件

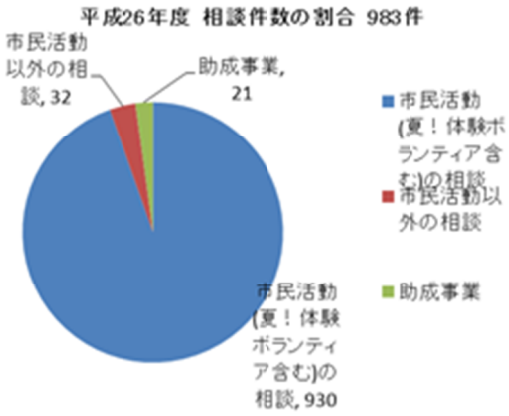
（内訳）

・市民活動に関する相談(夏！体験ボランティア 102 件を含む)　739 件

・市民活動以外の相談　49 件

・助成事業申請相談　15 件

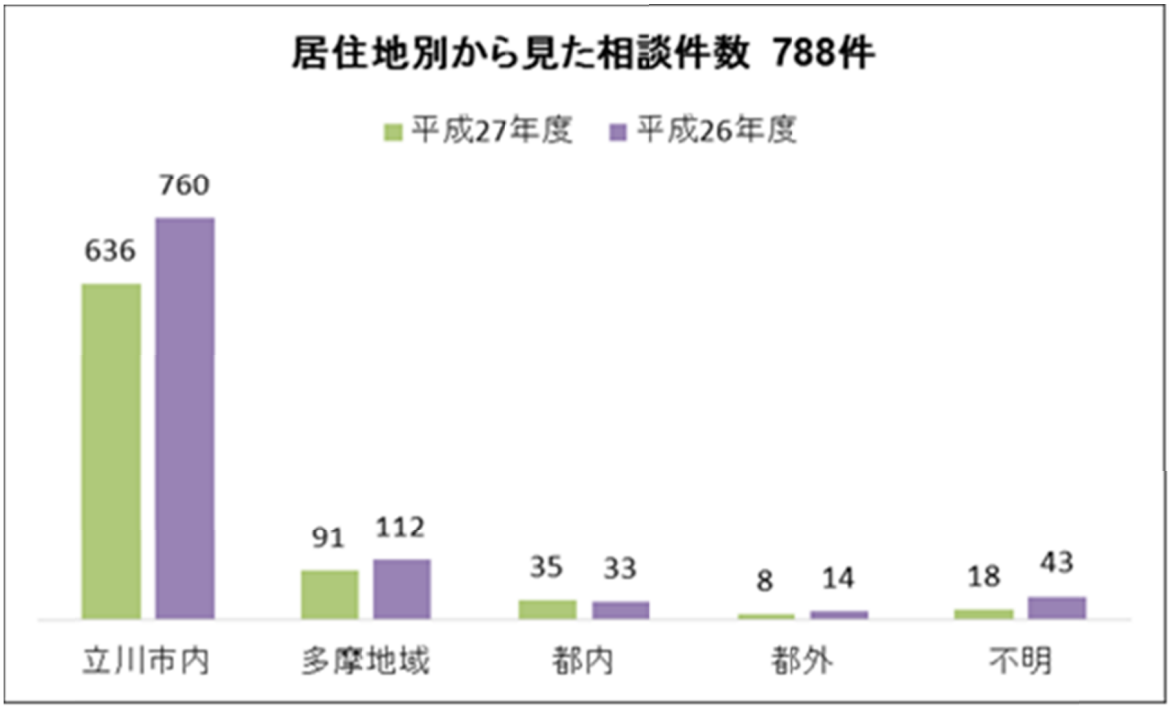


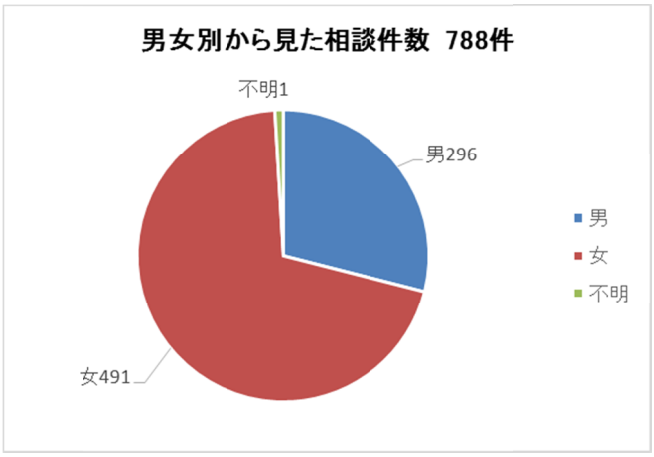

※上記は『センターの窓口で受けた相談』の内訳を表わすグラフ。
※以降の集計は市民活動に関する相談及び市民活動以外の相談（総合相談件数より「助成事業相談」を除く）件数 788 件から集計する。

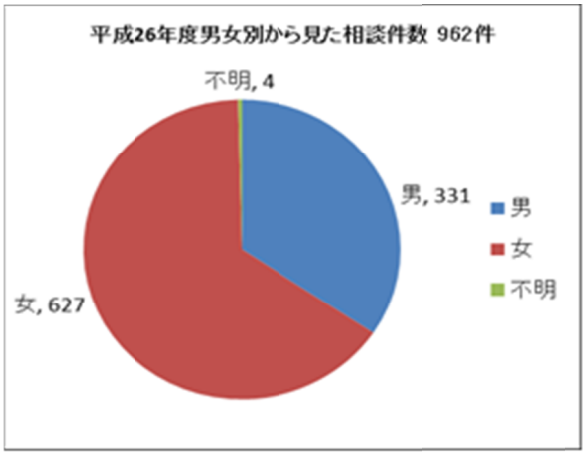
**■相談者の様子**

相談者の居住地は、センターの特性上、立川市内が最も多いが、市外からの相談も多く寄せられている。

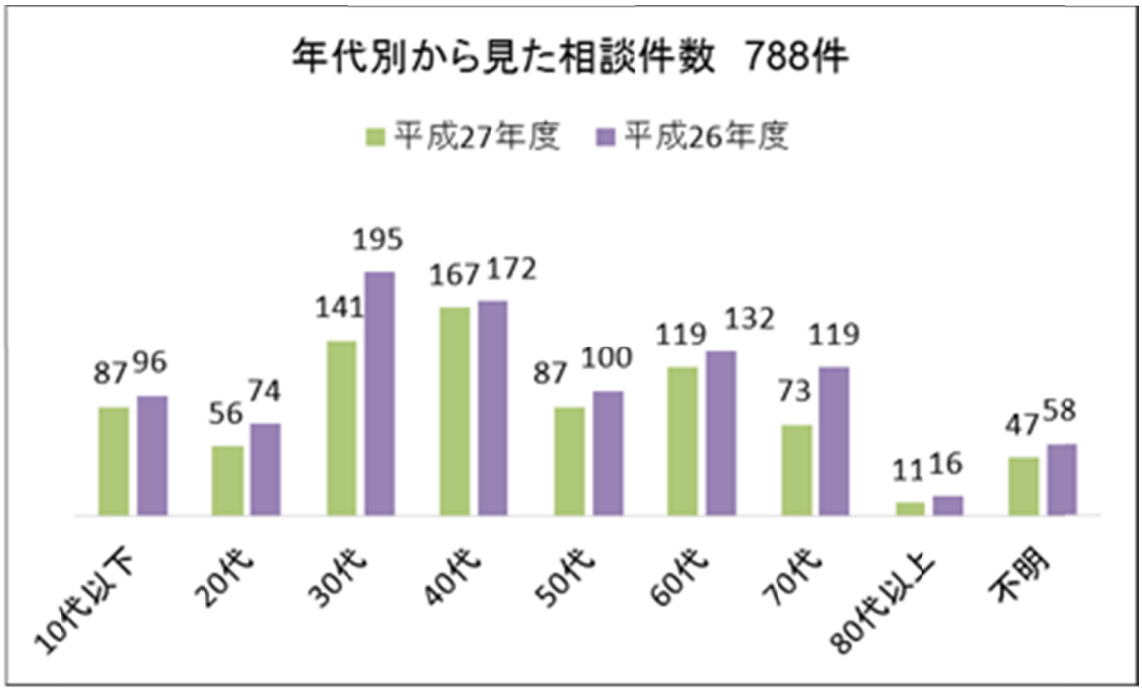


男女比は女性からの相談が多く、前年度と同一傾向にあると思われる。



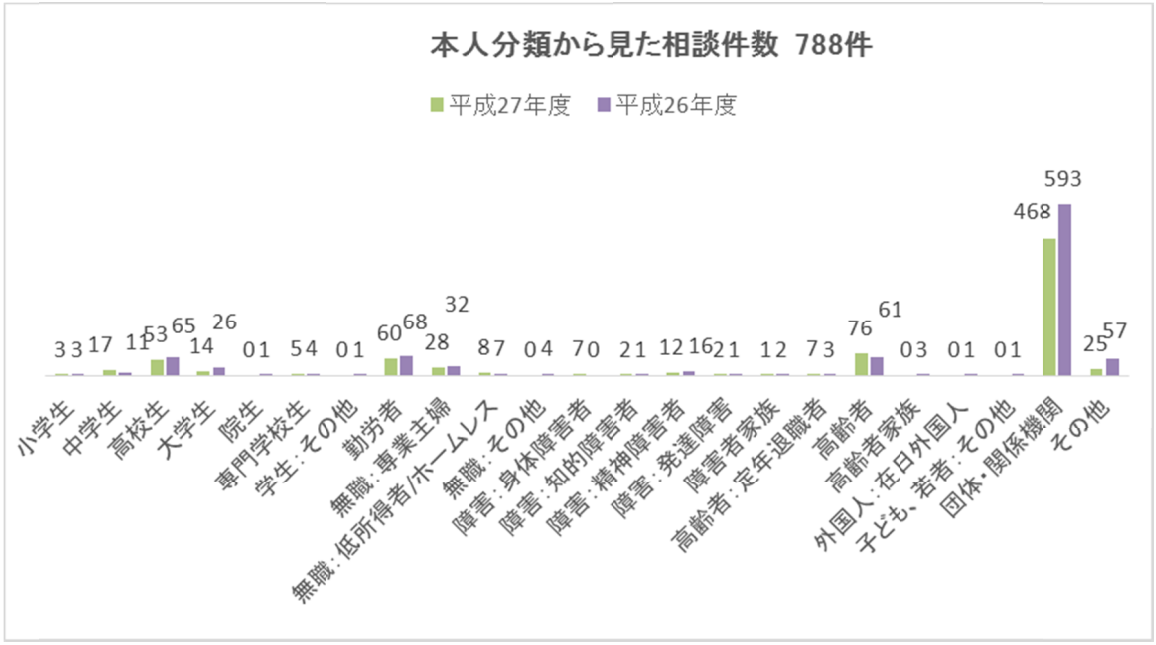



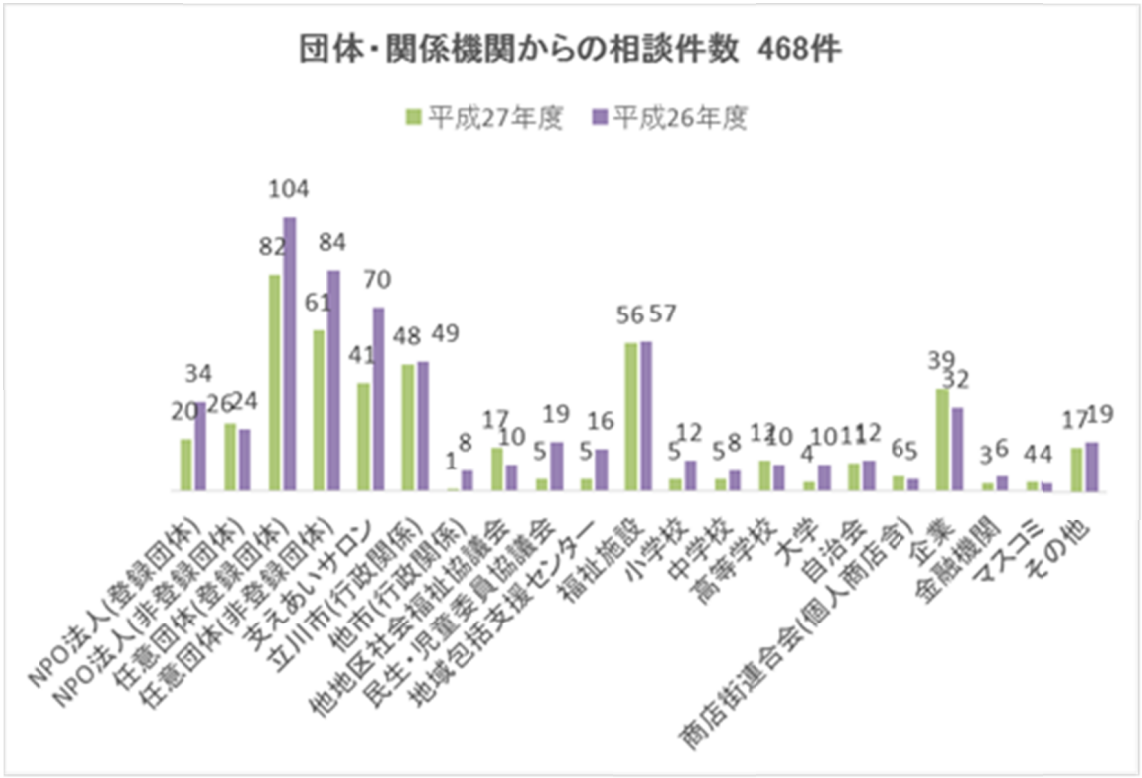

年代別の割合は昨年度と同様に、30～40 歳代の方からの相談の割合が最も多い。



本人分類で見ると、高校生、勤労者、高齢者、その他からの相談が目立つが、「団体」「関係機関」からの相談件数は突出している。

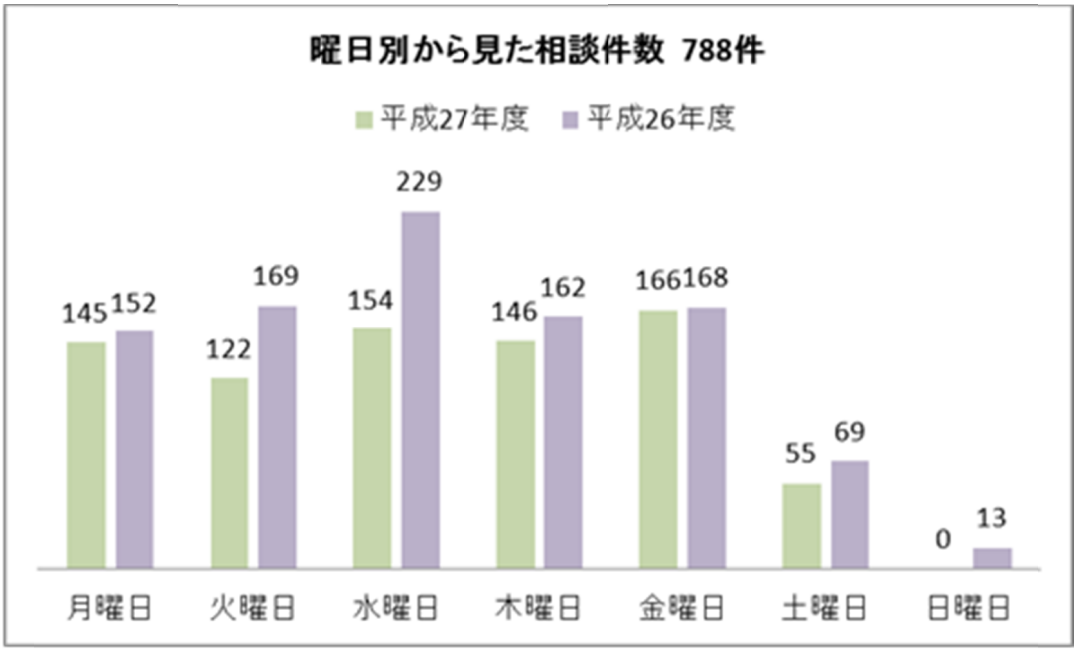
また、団体・関係機関の分類を行い、任意の登録団体、非登録団体、支えあいサロンからの相談が多いことから、市民活動センターたちかわは、何かあれば団体が相談できる窓口として機能してきていると推察される。近年は社会貢献についての相談が増え、企業からの相談も増えてきていると思われる。



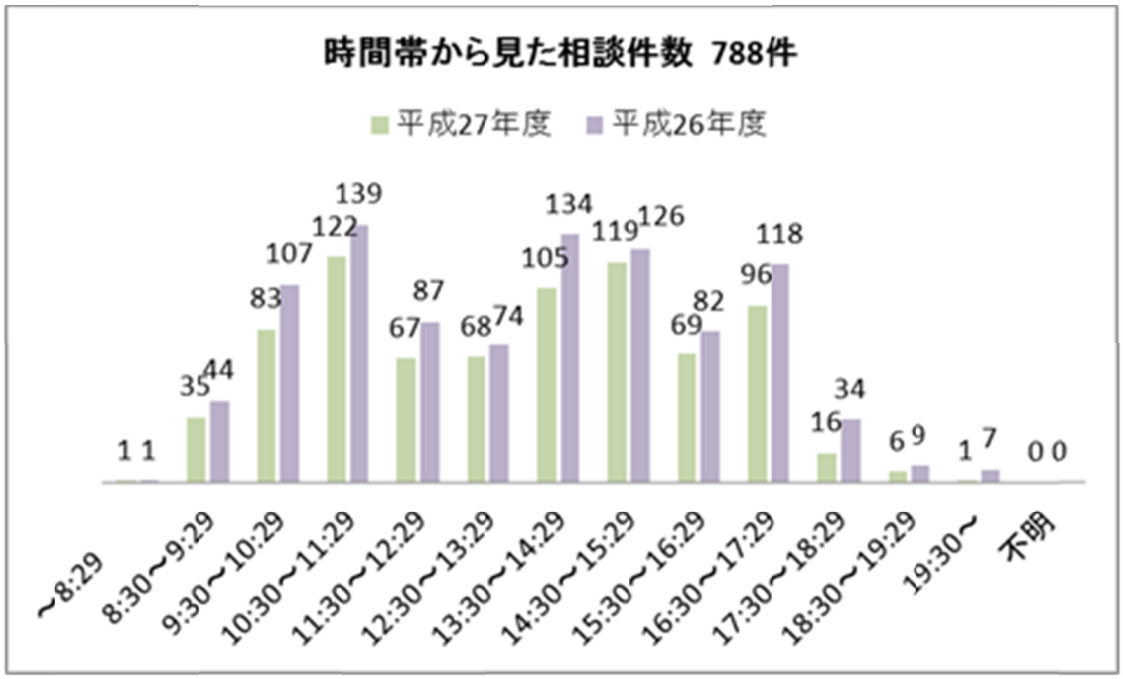



**■相談が寄せられる日時の傾向**

センター開所日のうち、土曜日の相談件数は昨年度同様に少ない。平日の相談件数については均等しているが、週末の金曜日に相談が傾向として多い。



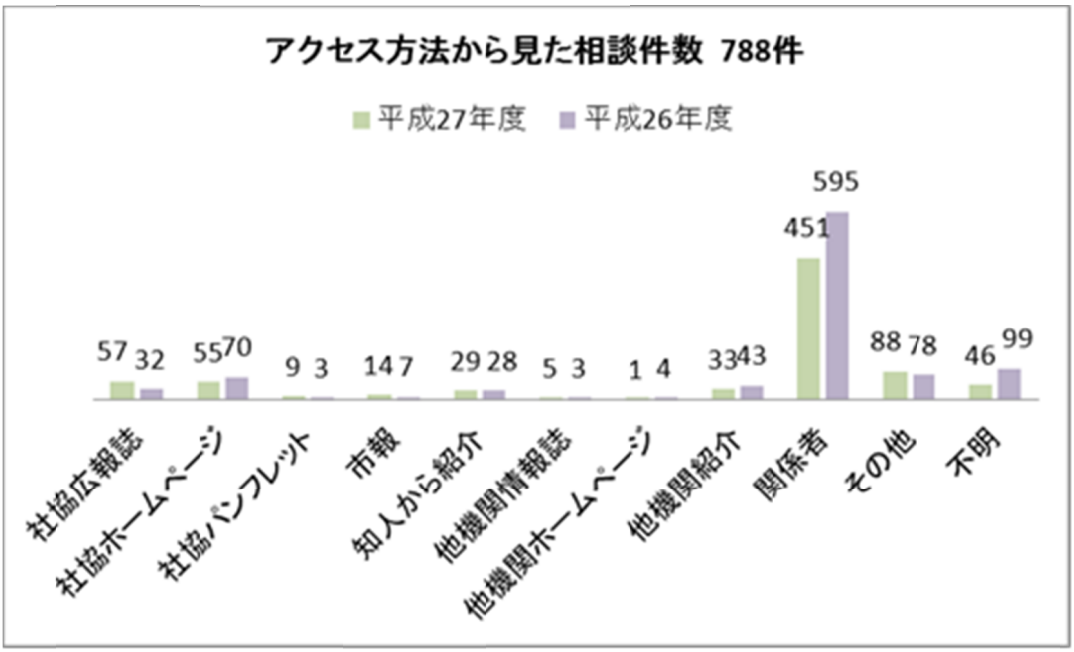

相談が寄せられる時間帯については、10:30～、14：30～の時間帯が多い。16:30～の相談件数もやはり多くなっている。



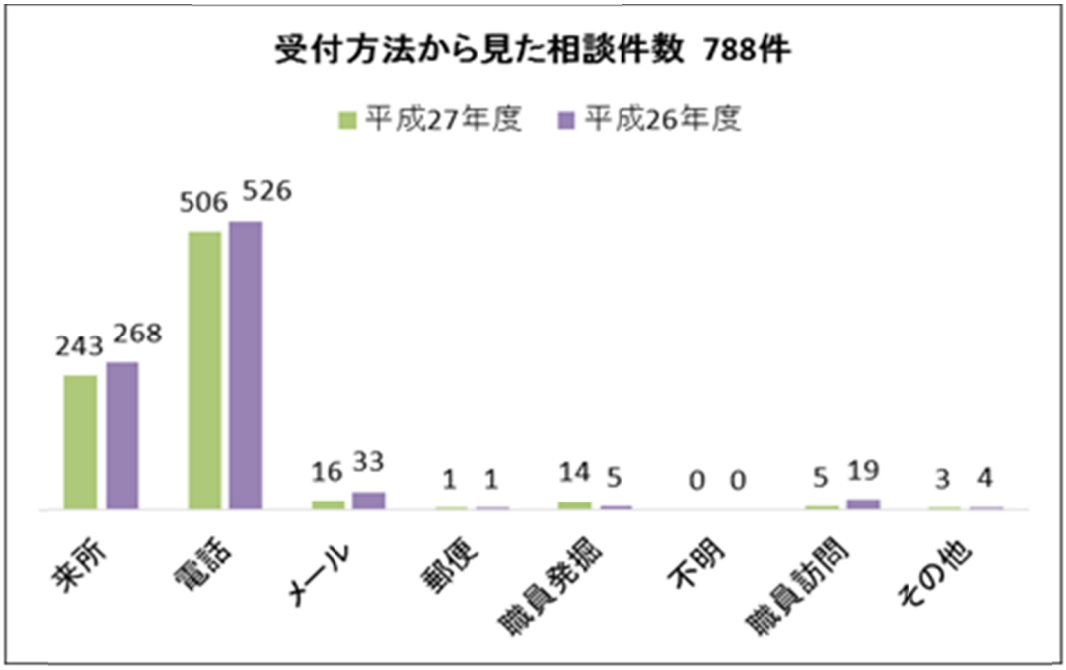
**■センターに連絡を入れるきっかけとアクセス方法**

社協の広報誌である「あいあい通信」や「市民活動センターたちかわ通信」で情報を得て、連絡を入れる方が多い。また、関係者からの相談も昨年度同様に群を抜いており、相談者の多くはリピーターであることが伺える。

なお、「関係者」とは、一度でもセンターを利用したことのある方を含めている。

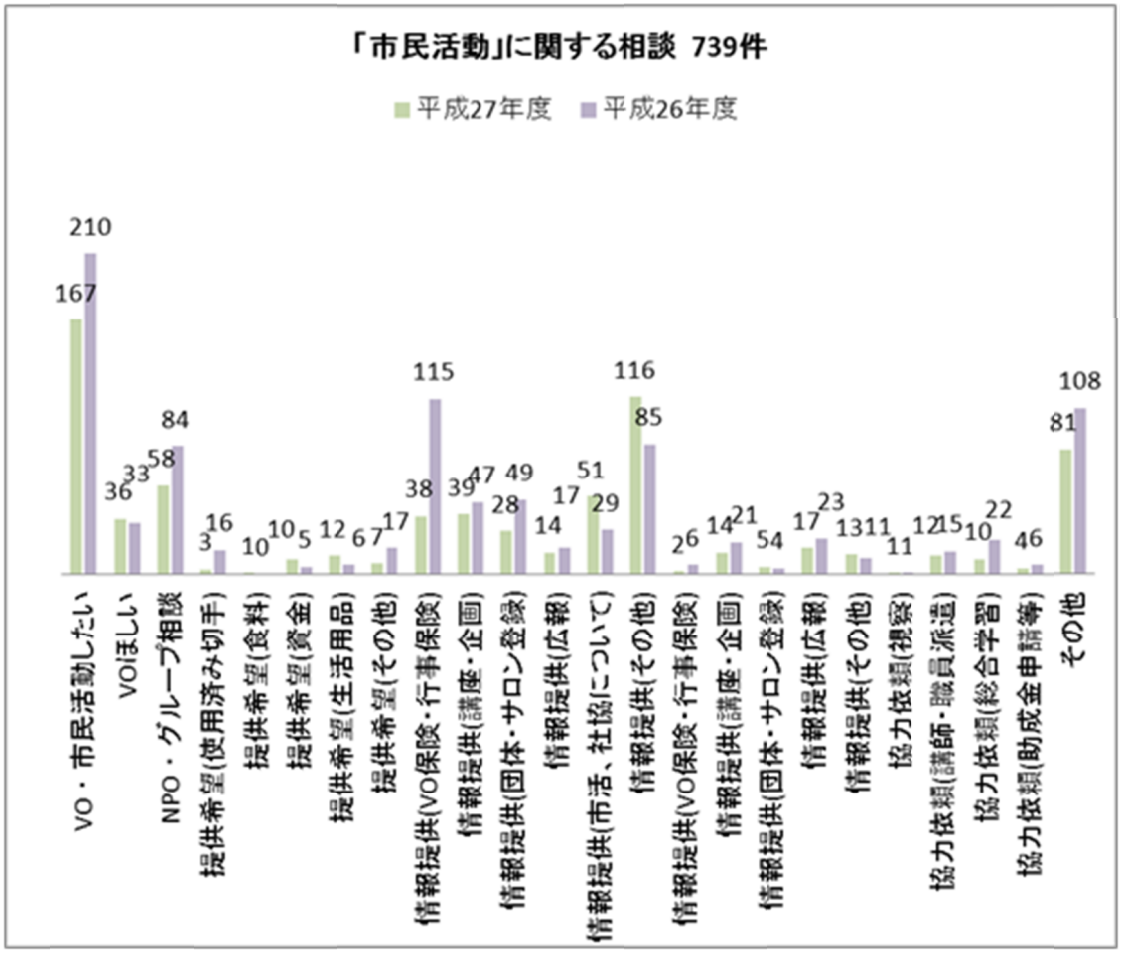



相談の受付方法については、全体比で見ると電話の割合が最も多い。また、立川市総合福祉センターにボランティア等について相談窓口があるということが認知されてきたようで、来所され相談につなげる件数も増えている。



**■市民活動に関する相談内容**

全体的な相談件数は昨年度(930 件)と比べて、減少している。市民活動センターたちかわから市民・団体への「情報提供」について、「ボランティア保険・行事保険」「団体・サロン登録」というように内容を絞って、相談内容を見てきたが、「ボランティア・市民活動したい」「市民活動センターたちかわからの情報提供」という相談が多いことがうかがえる。




「ボランティアしたい」「ボランティアほしい」という相談には、以下のような相談が寄せられている。最初から希望するボランティア活動のイメージを持っていない相談者も多く、その都度、相談者のニーズに合うような活動やボランティアを一緒に探している。最近は、障害のある方が就労する前にボランティアとして実習的に職場を体験したいといった相談や、企業で社会貢献したいという相談も受け付けた。

| 活動分野 | ボランティアしたい | ボランティアほしい |
|---|---|---|
| 保健・医療・福祉 | ・高齢者施設での活動補助<br>・障害者団体内でのボランティア活動<br>・高齢施設での配膳・下膳、清掃<br>・福祉作業所での活動補助<br>・傾聴 | ・高齢者施設での楽器演奏<br>・高齢者宅の粗大ごみ出し<br>・レクリエーション<br>（音楽演奏、和太鼓、書道等）<br>・傾聴 |

| | | |
|---|---|---|
| | ・家事援助<br>・障害者就労施設での手伝い<br>・児童館での活動補助<br>・プロボノ(福祉住環境コーディネーター)<br>・イベント運営支援 | ・高齢施設でのヨガ指導<br>・高齢施設での庭整備<br>・障害者団体の運営支援<br>・高齢者の代筆<br>・高齢者施設での活動補助<br>・障害者事業所での落ち葉掃き<br>・高齢者の図書の貸出し・返却<br>・囲碁・将棋の相手 |
| 社会教育 | ・夏！体験ボランティア | |
| 環境保全 | ・夏！体験ボランティア・清掃活動(ゴミ拾い)<br>・清掃活動<br>・農業支援 | |
| まちづくり | ・企業の社会貢献<br>・傾聴<br>・社会貢献(カレンダー寄付) | ・ネコ預かり |
| 文化・芸術・スポーツ | ・ヨガの指導<br>・ミュージカルイベントの手伝い | ・音楽イベントの企画運営支援<br>・視覚障害者自転車のロードレース出場支援 |
| 子ども | ・夏！体験ボランティア<br>・児童養護施設でのボランティア活動<br>・保育園での活動補助<br>・障害児学童保育所の手伝い<br>・傾聴<br>・イベント運営の手伝い<br>・障害児支援<br>・児童館でのフラワーセラピー | ・若者サポート施設での PC 講師<br>・子どもの見守り<br>・講座受講中の保育 |
| 情報化社会 | ・パソコン指導 | |
| 災害救助 | | ・養成講座の運営協力<br>・総合防災訓練の模擬患者 |
| 職業能力開発・雇用機会の拡充 | ・生活介護施設での手伝い<br>・高齢者介護の手伝い | ・障害者就労支援センターでの手伝い |
| その他 | ・子ども相手のボランティア<br>・着ぐるみを使った活動<br>・ボランティア養成講座の受講 | ・ガイドボランティア |

また、活動分野から見ると「保健・医療・福祉」と「子ども」の分野が多いのは昨年度同様。このことからも地域から寄せられる相談が増えていることが見て取れる。

## (2)「市民活動」以外の相談

「市民活動」に関する相談以外にも、生活などに関する相談も寄せられている。

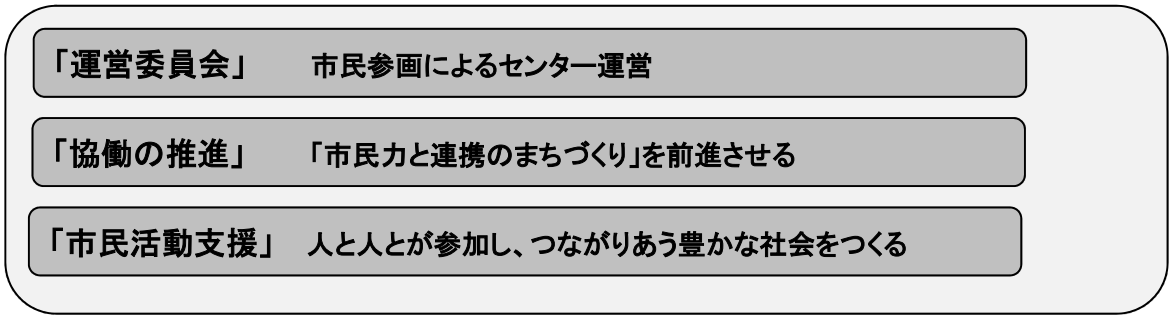
昨年度、「その他」の相談が最も多く、相談内容が見えずに数字として表れたため、「その他」の中でも寄附などの提供や、市民活動センターたちかわから団体への情報提供、視察の協力依頼などというように、相談内容を少し細分化させてデータをとった。昨年以上にどの機関を訪ねたらよいのかわからない(新たな社会的課題や公的サービスの隙間など)相談が多いことも特徴である。これらのことから、社会状況を反映している生活に関する課題なども増えていると考えられる。

市民活動以外の相談の中で、もっとも多い「その他」の分野には以下のような相談がある。

**「その他」の相談内容**

| | |
|---|---|
| 家族 | ・他地区に住む家族が、立川市内の施設入居に当たっての保証人について<br>・家庭内問題について相談したい<br>・子どものいじめや学習の遅れについて<br>・アルコール相談について<br>・傷病家族への車いす貸出しについて |
| 生計 | ・資格(音楽療法士)を生かした賃金を得られることをしたい<br>・生活設計相談を受けたい<br>・路上生活で苦しく、何か支援を受けられないか<br>・難病者に対しての家事援助について |
| 職業 | ・立川市総合福祉センターで受けたヘルパー資格の証明について<br>・就職合同説明会の開催について問合せ |
| 障害 | ・地域に住む障害を持つ方の支援について |
| 高齢者 | ・近隣の高齢者施設の環境設備について<br>・一人暮らし調査について<br>・認知症だと思われる方の対応について<br>・立川市総合福祉センタープール利用について |
| 子ども・若者 | ・子どもを連れて参加できる集まりを教えてほしい<br>・ニートである息子について |
| 法律・財産 | ・相続相談の予約について<br>・法律相談の予約について<br>・遺言状を作りたい |
| 成年後見 | ・障害を持っているので、将来が不安である |
| その他 | ・広報紙(あいあい通信)掲載の写真について<br>・会費礼状の問合せ<br>・庭木の剪定について<br>・立川市総合福祉センター内での忘れ物について<br>・学校介助員について<br>・ネコ探し業者について<br>・ネコの預け先団体等問合せ<br>・ふれあいミュージックフェスティバル開催時の忘れ物について<br>・市民農園の問合せ先について<br>・出前講座について(依頼・問合せ) |

## Ⅱ. センター運営の活動の柱




## 1. 市民参画の運営委員会によるセンター運営

### (1)運営委員会

市民によるセンター運営を進めていくため、市民活動センターたちかわのあるべき姿を探求しながら、2 つの専門委員会である「協働部会」「ボランティア部会」で、事業の企画・推進・評価を行い、委員会自身が具体的実践活動を展開しながら「市民活動とは何か」を捉えなおし、豊かにし続ける場となっている。平成 27 年度は、新たな取り組みとして、市民活動センターたちかわが企画・運営するイベント会場にて運営委員会を開催するとともに、助成金審査会も行い、多角的な視点で検討することが出来た。

**■運 営 委 員**

15 名　　（氏名／選出時区分）　任期:平成 27 年 6 月 19 日～平成 29 年 6 月 18 日

| | |
|---|---|
| 運営委員長 | 宮 本 直 樹／社会福祉協議会理事 |
| 副 委 員 長 | 石 原 康 博／特定非営利活動法人団体 |
| | 井上　英徳／企業 |
| | 渡辺　信行／特定非営利活動法人団体 |
| | 関口　真一／特定非営利活動法人団体 |
| | 江 夏　　馨／ボランティア団体 |
| | 黒島　秀和／関係行政機関 |
| | 岩谷　博一／企業 |
| | 芝 田 達 矢／立川商工会議所 |
| | 関根　義矢／市民 |
| | 鈴木　徳子／特定非営利活動法人団体 |
| | 山 尾 桂 子／市民 |
| | 山 本 晶 子／ボランティア団体 |
| | 山 家 利 子／特定非営利活動法人団体 |
| | 澤田　　仁／企業 |

※平成 27 年 11 月までの任期

三島　雄介／企業

①運営委員会（全体会）開催回数：　4 回

1)平成 27 年 6 月 17 日（水）　平成 26 年度事業報告について

2)平成 27 年 7 月 7 日（火）　（委員改選後、初回）運営委員長、副委員長の選任／今後の市民活動センターたちかわ運営委員会（部会含む）の運営について

3)平成 27 年 11 月 11 日（水）　平成 27 年度上半期事業報告、各部会からの報告について

4)平成 28 年 3 月 3 日（木）　平成 28 年度事業計画について

②運営委員会（現地開催）開催回数：6 回

市民活動センターたちかわが関わるイベントがどのように取り組まれているか、今後どのように発展したら良いなどの視点で検討するために現地開催の運営委員会を開催したことで、企画面や運営面での改善点だけでなく、新たな企業の社会貢献活動が誕生した。

1)平成 27 年 9 月 1 日（火）　東京都・立川市合同総合防災訓練

2)平成 27 年 9 月 26 日（土）　第一生命立川支社の地域貢献イベント

3)平成 27 年 9 月 27 日（日）　第 23 回ふれあいミュージックフェスティバル

4)平成 27 年 11 月 7 日（土）　たちかわ楽市

5)平成 27 年 12 月 19 日（土）　第 2 回　ヒューマンライブラリー@立川 2015

6)平成 28 年 3 月 26 日（土）　第 2 回　待っています。地域の仲間と出会いのパーティー

③運営委員会（助成金審査会）開催回数：3 回

運営委員会として、助成金の審査を行うことができ、「この助成金が立川市民のためになるのか」「この助成金を受けている間に、他の助成金を受けられるように力を付けてもらえるように支援することも大切である」などさまざまな意見が出され、15 件の申請について審査を行うことが出来た。

1)平成 28 年 3 月 3 日（木）

2)平成 28 年 3 月 10 日（木）

3 平成 28 年 3 月 15 日（火）

④協働支援センター部会　　開催回数：2 回

社会貢献や地域活動等に参加したい人の為に、一歩踏み出せない人のきっかけや出会いの場つくりを検討し、実行した。

1)平成 27 年 4 月 24 日（金）　「ボランティア活動参加者の集まり」振返り
夏！体験ボランティア 2015 の広報について

2)平成 27 年 5 月 19 日（火）　夏！体験ボランティア 2015 の広報／今期の部会の振り返り

⑤地域活動支援センター部会　　開催回数：１回

今、取り組むべき地域福祉課題を選定し、その啓発や課題解決のための講座を企画実施した。

1)平成 27 年 5 月 13 日（水）　待っています。地域の仲間と学びのパーティー振り返り

⑥市民活動支援部会（ボランティアセンター部会）　　開催回数：2 回

市民活動センターの理念や捉えるべき社会問題を整理･検討した企画･仕組み作りに取り組んだ。

1)平成 27 年 4 月 13 日（月）　平成 26 年度市民活動団体助成報告／登録団体制度について

2)平成 27 年 5 月 21 日（木）　平成 26 年度市民活動団体助成報告／登録団体制度について

以下、委員改選後の専門部会

⑦協働部会　　開催回数：6 回

「豊かな市民力をつむぎ、さまざまな価値観の縦糸と横糸が織りなす協働の場をつくっていきます。」をキーワードに、協働の推進について検討した。

1)平成 27 年 8 月 26 日（水）　企業との協働／ふれあいミュージックフェスティバル／ヒューマンライブラリーについて

2)平成 27 年 9 月 24 日（木）　学校との協働／ふれあいミュージックフェスティバル／ヒューマンライブラリーについて

3)平成 27 年 10 月 20 日（火）　企業との協働（第一生命）／ヒューマンライブラリーについて

4)平成 27 年 11 月 25 日（水）　学校との協働／ヒューマンライブラリー／協働部会の重点テーマについて

5)平成 28 年 1 月 20 日（水）　学校との協働／プロボノ支援について

6)平成 28 年 2 月 25 日（木）　学校との協働／企業との協働について

⑧ボランティア部会　　開催回数：５回

「思いやりの気持ちを行動に移しませんか？『ありがとう』に出会える生き活きとした地域活動のきっかけを作ります。」をキーワードに、市民活動のきっかけづくり等について検討した。

1)平成 27 年 8 月 19 日（水）　夏！体験ボランティア経過報告／おもしろボランティア大学／待っています。地域の仲間と出会いのパーティーについて

2)平成 27 年 10 月 13 日（火）　たちかわ楽市案内人ボランティア／待っています。地域の仲間と出会いのパーティーについて

3)平成 27 年 12 月 4 日（月）　待っています。地域の仲間と出会いのパーティーについて／ボランティア部会のテーマについて

4)平成 28 年 1 月 26 日（火）　待っています。地域の仲間と出会いのパーティーについて／登録団体の更新について／おもしろボランティア大学／マネジメント講座について

5)平成 28 年 3 月 24 日（木）　待っています。地域の仲間と出会いのパーティーについて

## 2. 協働の推進

### (1)市民と行政との協働の推進

市民と行政の協働によるまちづくりを進めるために、その仕組みづくりを支援し、市民と行政の「協働」事業などに積極的に参画した。

**■委員会や定例会、会議への参画**

①立川市地域福祉推進委員会への参画

1) 立川市第3次地域福祉計画及び第4次立川あいあいプラン21の説明、今後のスケジュール等

2) 平成27年度ウォッチャー調査結果報告、第3次地域福祉計画の報告、第3次立川あいあいプラン21（平成26年度）の報告、平成28年度の取組みについて

②東京都・立川市合同総合防災訓練への参画

1) 東京都・立川市合同総合防災訓練出展団体説明会

平成27年8月21日(金)

③立川市文化芸術のまちづくり協議会への参画

平成27年5月15日(金)

④立川市人権学習事業実行委員会への参画

1)平成27年4月22日(水)

今年度事業について

2)平成27年6月22日(月)

啓発事業について・障害者週間実行委員会との顔合わせ

3)平成27年8月26日(水)

啓発事業（映画会・トークショー）について・パネル展について

4)平成27年11月18日(水)

啓発事業（映画会・トークショー）における役割分担、来年度も取り組みについて

5)平成27年12月6日(日)

啓発事業への参画（映画：みんなの学校、トークショー：山本シュウ氏）

参加人数：177名

⑤高齢者虐待防止ネットワーク連絡会

1)平成27年5月27日(水)

⑥立川市虐待防止担当者連絡会

1)平成27年6月5日(金)

⑦東京ホームタウンプロジェクトへの参画

1) ホームタウンプロボノ

a)ホームタウンプロボノ推薦団体説明会

平成27年5月26日(火)

b)市民活動団体への推薦/　1団体

c)プロボノ実施セミナー

平成 27 年 8 月 28 日(金)

d)来年度の取り組みについて

平成 27 年 12 月 24 日(木)

⑧立川市地域猫登録団体連絡会(高齢者等のペット預かり問題)

⑨立川市子ども支援ネットワーク

・立川市子ども支援ネットワーク実務担当者会議

・立川市子ども支援ネットワーク各地区定例会議

**■立川市地域福祉推進委員会への参画**

平成 27 年度から施行された第 3 次地域福祉計画並びに第 4 次立川あいあいプラン 21 を効果的かつ円滑な推進を図るため、立川市とともに推進委員会を設置し、事務局として委員会の運営に積極的に関わった。

**■立川市人権学習啓発イベントへの参画**

立川市人権学習実行委員会で企画運営をした、人権学習イベントを平成 27 年 12 月 6 日（日）に開催した。当日は、177 名の市民が参加し、人権映画上映「みんなの学校」を視聴した。この映画は、大阪にある普通の公立小学校が目指している「不登校ゼロ」の取り組みの記録である。発達障害のある子やつい暴力をふるってしまう子も受け入れ、教職員だけでなく、児童、保護者、地域の人々も一緒になって見守るうちに、変わってきたのは周囲の方だったという。

第二部では、山本シュウ氏（TV 番組「バリバラ」出演者登壇）を招いて、バリアフリートークライブ～笑いでバリアを吹っ飛ばせ！～を開催した。　山本シュウ氏は、大阪出身のラジオＤＪ。レモンの被り物をして、PTA 会長を 5 年間努め、現在も顧問を務める伝説の人物。映画「みんなの学校」を事前に視聴したあと、内容を共有して学校や人権について熱く語っていただいた。合言葉は「We are シンセキ！」

**■プロボノ 1DAY チャレンジへの協力**

今年度より地域包括ケアの推進事業として、東京都と NPO 法人サービスグラントで実施する「東京ホームタウンプロジェクト」へ参画し、事業の一つであるプロボノ 1DAY チャレンジの開催協力を行った。事前打ち合わせ等を 2 回行い、開催場所の提供や、支援を受ける団体の取りまとめ等を通し、プロボノワーカーの確保や団体のニーズ調査等、立川での自主開催の参考とすることができた。

日　　時：平成 27 年 10 月 24 日(土)

場　　所：立川市総合福祉センター内

対　　象：市民活動センターたちかわ登録団体 3 団体

・特定非営利活動法人トモニ

・子育て支援ひろば立川おもちゃ図書館ぱれっと

・ミュージカルパフォーマンスグループたっきぃ

■立川市地域猫団体登録連絡会

「高齢者等のペット預かり問題」というテーマについて、立川市環境対策課、立川市地域猫登録団体、南部西ふじみ地域包括支援センター、動物愛護推進委員会等とネットワークを組み、独居高齢者のペット問題や、飼い主のいない猫への対応について協議を行った。問題を未然に防ぐための対応や､実際に問題が発生した時の動き等を検討し､具体的な解決策の実現に向けて議論を重ねた。

協議を重ねる中で、問題を未然に防ぐための意識啓発の一環としてチラシを作成し、関係者やケアマネージャー等に周知をし、問題を身近に感じていただけるよう啓発している。

参画団体：立川市環境対策課、動物愛護推進委員、五月会、五月会猫対策の会、にゃんにゃん
栄町猫対策委員会、ふじみ Cats ボランティアの会、羽衣キャッツ、
南部西ふじみ地域包括支援センター、地域福祉コーディネーター、
市民活動センターたちかわ

開 催 日：1)平成 27 年 11 月 4 日(水)
2)平成 27 年 12 月 15 日(火)
3)平成 28 年 1 月 19 日(火)
4)平成 28 年 2 月 23 日(火)

## (2)関係機関･団体との協働事業の実施や支援

関係機関・団体の定例会への参加や協働事業などを通して地域課題の解決を図った。

①「楽市」実行委員会・企画運営委員会への参画
1) たちかわ楽市 2015 市民活動団体出店団体とりまとめ
2) 実行委員会、企画運営委員会/5 回

②災害対策ネットワーク会議の開催/3 回

③立川市災害ボランティアネット総会・定例会への参加
1) 定例会・勉強会への参加／毎月 1 回
2) 総会への参加　　平成 27 年 5 月 9 日(土)

④東京都アクションプラン推進会議幹事会/6 回

⑤東京都アクションプラン推進会議全体会/4 回

⑥障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
1)例会・勉強会への参加/8 回

⑦東京都社会福祉協議会や他地区社会福祉協議会等との連携
1)ボランティア・市民活動センター長会議
・平成 27 年 5 月 15 日(金)
・平成 27 年 9 月 4 日(月)
・平成 28 年 1 月 29 日(金)
2)北西ブロックボランティア担当者会議／4 回
・平成 27 年 5 月 19 日(火)
・平成 27 年 7 月 15 日(水)
・平成 27 年 8 月 13 日(木)

・平成 27 年 12 月 1 日(火)

⑧子ども・若者自立支援ネットワーク会議／2 回

・平成 27 年 5 月 18 日(月)

平成 26 年度事業報告等

・平成 27 年 8 月 4 日(火)

公開相談の報告・グループワーク等

・平成 27 年 10 月 13 日(火)

フォーラム・支援者研修会、ワークショップ等

⑨たちかわ創業応援プロジェクト

1)たちかわ創業応援プロジェクト会議/1 回

・平成 27 年 5 月 15 日(金)

協定機関の平成 27 年度実施事業について

2)たちかわ創業応援プロジェクト実務担当者会議/2 回

・平成 27 年 11 月 27 日(金)

平成 27 年度実施事業の報告ならびに平成 28 年度実施予定事業の概要等

・平成 28 年 3 月 14 日(月)

平成 28 年度実施事業について

⑩市民活動支援団体との協働

1)studio-L との意見交換

平成 27 年 9 月 30 日(水)

2) 市民活動支援協議会への参画

a)平成 27 年 10 月 27 日(火)

地域の子供たちとのつながりについて

b)平成 27 年 12 月 21 日(月)

地域のお店とのつながりづくりについて

c)平成 28 年 2 月 17 日(水)

地域の企業とのつながりづくりについて

⑪福祉ホットライン検討委員会

・平成 28 年 3 月 15 日(火)

事業報告、福祉ホットライン情報誌について、平成 28 年度事業について

**■たちかわ楽市 2015 への参画**

毎年、国営昭和記念公園みどりの文化ゾーンで開催される『たちかわ楽市』の実行委員会と企画運営委員会に参加し、市民活動団体のＰＲや、財源確保の場を提供するために、しみん祭の一部エリアを担当し、市民活動センターたちかわ登録団体を対象に出店団体の取りまとめを行った。今年は食品販売の規制が厳しくなり、例年より出店団体数が減少した。

日　　時：たちかわ楽市　平成 27 年 11 月 7 日(土)・11 月 8 日(日)

場　　所：国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン

参加団体：市民活動センターたちかわ登録団体
出店　21 団体

**■災害対策ネットワーク会議の開催**

発災時に災害ボランティアセンターの運営が円滑になされるよう、日頃からの関係性の構築を目的に毎年開催している。今年度は各種団体の役割・取り組みを共有して連携を図った。

また、東京都・立川市合同総合防災訓練に協働で参画するために、出展内容について検討し、災害ボランティアセンター運営訓練を実施した。

参加団体：立川市防災課、立川市協働推進課、立川商工会議所、公益社団法人立川青年会議所、
株式会社ジュピターテレコム、エフエムラジオ立川株式会社、
東京都防災士会立川支部、立川市赤十字奉仕団、立川市災害ボランティアネット、
真如苑救援ボランティア（ＳｅＲＶ）

開 催 日：平成 27 年 4 月 27 日(月)
平成 27 年 8 月 11 日(火)
平成 28 年 2 月 24 日(水)

**■東京都アクションプラン推進会議幹事会**

平成 24 年 4 月に、新たな首都直下地震の被害想定が東京都から出され、最大で死者 9,700 人、避難者数は 339 万人にものぼると想定され、多摩直下地震でも、最大で 4,700 人、避難者数は 276 万人という想定となっている。こうした大災害にどう対応していくべきかを考え、東京都災害ボランティアセンター（仮称）の運営等に関する検討委員会が立ち上がった。その中で、災害が起きた後の体制を検討することも大切であるが、平時の取組みこそ重要であり、災害が起きる前の取り組みについて重点的に検討する 5 か年の中期実行計画「アクションプラン」を東京ボランティア市民活動センターが事務局となり、平成 26 年度から幹事会がスタートし、市民活動センターたちかわも幹事として参加した。

主な検討事項：被災者支援・ネットワーク調整事業、災害ボランティアセンター設置運営支援事業、被災情報・支援情報の収集と発信事業、人材育成事業、アクションプラン推進体制等の検討

幹事団体：国際協力 NGO センター、ジャパンプラットフォーム、国際 NGO センター、
日本青年会議所　関東地区　東京ブロック、東京災害ボランティアネットワーク、
東京都生活共同組合連合会、市民活動センターたちかわ、
東京ボランティア市民活動センター
（オブザーバー：JVOAD 準備会事務局、東京都生活文化局）

開 催 日：平成 27 年 4 月 22 日(水)
平成 27 年 6 月 19 日(金)
平成 27 年 8 月 18 日(火)
平成 27 年 10 月 1 日(木)
平成 28 年 1 月 26 日(火)

平成 28 年 3 月 4 日(金)

**■東京都アクションプラン推進会議全体会**

東京都アクションプランの進捗状況の確認や企画の検討を行うとともに、各団体が行う災害ボランティア関連活動や防災減災に関する情報交換を行った。

参加団体：ADRA Japan、IVUSA（学生国際協力)、ケア・インターナショナルジャパン、
減災と男女共同参画研修推進センター、災害復興まちづくり支援機構、
シャンティ国際ボランティア会、JUON（樹恩）NETWORK、
真如苑救援ボランティアグループ（SeRv)、東京 YMCA、難民支援協会、
ピースボート災害ボランティアセンター、アクションプラン幹事団体

開 催 日：内容：平成 27 年 5 月 28 日(木)　東京都生活共同組合連合会の活動について
平成 27 年 7 月 23 日(木)　多様性配慮の視点で学ぶ
平成 27 年 11 月 17 日(火)　東日本大地震による広域避難者から学ぶ
平成 28 年 2 月 16 日(火)　日本赤十字社東京都支部の取り組みから学ぶ

**■たちかわ創業応援プロジェクト**

立川市、立川商工会議所、金融機関等が取り組む創業・起業への支援や、周知・啓発を図るためのプロジェクトに、NPO 法人を支援している機関として参画した。また、年 6 回「たちかわ創業応援通信」という、創業起業に役立つ情報を掲載した広報紙を発行した。

参加団体：立川市、立川商工会議所、多摩信用金庫、日本政策金融公庫

①たちかわ創業応援プロジェクト会議

開催日：平成 27 年 5 月 15 日(金)

協定機関の平成 27 年度実施事業について

②たちかわ創業応援プロジェクト実務担当者会議/2 回

開催日：平成 27 年 11 月 27 日(金)

平成 27 年度実施事業の報告、平成 28 年度実施予定事業の概要

③平成 28 年 3 月 14 日(月)

平成 28 年度実施事業について

## (3)企業等との協働事業の実施や企業の社会貢献活動の支援

企業等からの社会貢献活動についての相談を受け付け、協働事業の実施やコーディネートを行い、協働の推進を図った。

①企業等との協働事業の実施と社会貢献活動の支援

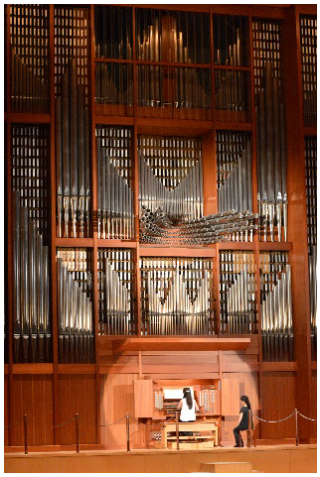
**■ふれあいミュージックフェスティバル 2015**

今年度で 23 回目となるこの催しは、年齢や障害の有無などに関わらず、誰もが気軽に良質な音楽を楽しむことが出来る音楽会として国立音楽大学の講堂大ホールで開催した。

東京ガス株式会社多摩支店、国立音楽大学との協働に加え、今年度は 21 社の協賛企業に協力いた

だき、盛大に開催することが出来た。

当日は、駐車場や駐輪場の誘導整理、会場設営、受付、車椅子･ストレッチャーを使用されている方の会場誘導など、多くのボランティアの方から協力を得た。



開催日：平成 27 年 9 月 27 日（日）

会場：国立音楽大学講堂・大ホール

来場者数：1,168 名

主催：社会福祉法人 立川市社会福祉協議会

企画・制作：ふれあいミュージック・フェスティバル実行委員会

後援：立川市、公益財団法人立川市地域文化振興財団、国立音楽大学、
読売新聞東京本社立川支局

特別協賛：東京ガス株式会社多摩支店

協賛(五十音順)：

岩﨑倉庫株式会社・エコア株式会社・株式会社川口商店・交通システム電機株式会社・
コクヨマーケティング株式会社・清水建設株式会社・昭和第一学園高等学校・
株式会社セレモア・株式会社立川都市センター・株式会社立飛ホールディングス・
多摩信用金庫・東京ガスライフバル多摩中央株式会社・一般社団法人東京多摩後見会・
株式会社東芝西東京支店・東芝エレベーター株式会社西東京支店・
株式会社ﾄﾖﾀ東京教育ｾﾝﾀｰﾄﾖﾀﾄﾞﾗｲﾋﾞﾝｸﾞｽｸｰﾙ東京・中島建設株式会社・
株式会社藤紋・マノ精工株式会社・ミツモト商事株式会社・八重洲工業株式会社

広報協力(順不同)：

ムーサ・市報・読売新聞・市内各会館・市内各福祉会館・市内各学習館・市内各児童館・
市内各学童保育所・市内各市立保育園・市内各私立保育園・市内各私立幼稚園・
立川市企画政策課・防災課・協働推進課・生涯学習推進センター・市政情報コーナー・
女性総合センターアイム・子ども家庭支援センター・子ども未来センター協働事務室・
子育て支援事務室・昭和第一学園高校・砂川高校・立川国際中等教育学校・立川高校・
立川女子高校・KTC 立川キャンパス・関東リハビリテーション専門学校・自治会連合会・
子ども会連合会・民生委員・児童委員・立川社協団体会員・評議員・多摩信用金庫各支店・
市民活動センターたちかわ運営委員会・立川在宅ケアクリニック・
多摩モノレール立川南口駅・浅見酒店・上砂歯科医院・ワシントンホテル

ボランティア：

立川市明るい社会をつくる会・東京立川断酒新生会・立川女子高等学校・
国際ソロプチミスト立川・認定特定非営利活動法人育て上げネット・シネマ１６・
おもしろボランティア大学参加者　計 51 名の方の参加により、当日無事に開催できた。

多くの方からの声を聞くために、粗品を用意し、アンケートと引き換えたことにより、例年以上のアンケート記入をいただいた。
アンケート回収数　911 枚（回収率 78%）

・アフターコンサート

施設入所などさまざまな理由で、会場に来ることの難しい方達のために、国立音楽大学の学生が施設に出向き、6 施設でミニコンサートを開催した。

多くの方に感動とやすらぎを届け、共に歌ったりとより身近に感じることのできる素敵なコンサートとなった。

1) 平成 27 年 10 月 10 日（土）【しらゆり福祉作業所】～クラリネット三重奏～
2) 平成 27 年 10 月 17 日（土）【国立あおやぎ苑立川　通所リハビリ 】～フルート三重奏～
3) 平成 27 年 10 月 24 日（土）【砂川園】～バイオリン・ピアノデュオ～
4) 平成 27 年 10 月 31 日（土）【立川福祉作業所】～木管五重奏～
5) 平成 27 年 11 月 14 日（土）【テイクオフ】～サックス・ピアノデュオ～
6) 平成 27 年 11 月 21 日（土）【スマイル Jr. 】～クラリネット四重奏～

**■第一生命保険株式会社立川支社**

内　　容：チャリティーバザーへの市民活動団体の出展コーディネート
日　　時：平成 27 年 9 月 26 日（土）
場　　所：立川市子ども未来センター
出展団体：立川市南部東はごろも地域包括支援センター
　　特定非営利活動法人フラワーセラピー協会
　　社会福祉法人至誠学舎立川ワークセンターまことクラブ

**■企業の CSR 活動や社員研修への協力**

企業から寄せられる「寄附がしたい」「CSR(企業の社会的責任)活動がしたい」「社会貢献できる人材育成プログラムを実施したい」といったご相談を受け、実施のための支援を行った。

①社員研修（含むボランティア活動プログラム）への協力

1) **多摩信用金庫**

内　　容：市内 11 ヶ所の施設・団体で 92 名の新任社員がボランティア体験

日　　時：a)平成 27 年 7 月 9 日(木)・7 月 10 日(金)・7 月 13 日（月）

b)平成 27 年 7 月 14 日(火)・7 月 15 日（水)・7 月 16 日(木)

c)平成 27 年 7 月 17 日（金)・7 月 21 日（火)・7 月 22 日(水)

協力団体：社会福祉法人恵比寿会フェローホームズ　フェローデイサービスセンター/
社会福祉法人至誠学舎立川至誠特別養護老人ホーム/
社会福祉法人至誠学舎立川至誠キートスホーム/
特定非営利活動法人マチエール花音/
特定非営利活動法人ワーカーズコープ立川市幸児童館/
社会福祉法人西立川児童会館/特定非営利活動法人しらゆり福祉作業所/
社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会立川福祉作業所/
特定非営利活動法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会/
社会福祉法人立川市社会福祉協議会生活介護支援事業所/
社会福祉法人立川市社会福祉協議会デイサービスセンター/
社会福祉法人立川市社会福祉協議会就労支援事業所栄福祉作業所

2) **三菱東京 UFJ 銀行**

内　　容：市内 9 ヶ所の施設・団体で 40 名の新入社員がボランティア体験

日　　時：平成 27 年 3 月 18 日(水)平成 27 年度、受入施設事前説明会

平成 27 年 5 月 26 日(火)、28 日(木)研修実施、および 29 日(金)の振り返り

協力団体：社会福祉法人恵比寿会フェローホームズ/
特定非営利活動法人ケアセンターやわらぎ　やわらぎホーム・西立川/
社会福祉法人至誠学舎ワークセンターまことくらぶ/
特定非営利活動法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会/
特定非営利活動法人マチエール花音/認定特定非営利活動法人育て上げネット/
星槎国際高等学校立川学習センター/
社会福祉法人立川市社会福祉協議会生活介護支援事業所/
社会福祉法人立川市社会福祉協議会就労支援事業所栄福祉作業所

**②CSR 活動（寄付や地域貢献、ボランティア活動等）のご相談**

**1)木下大サーカス武蔵村山公演**

内　　容：立川市より、市内福祉施設へ武蔵村山公演招待券(前期 1,000 名・後期 1,000 名)の配布を依頼された。「夏！体験ボランティア」受け入れ施設等 66 施設に案内をし、施設行事の一環として公演を鑑賞すること出来た。

**2)大和ハウス工業株式会社　多摩支店**

今までにも、ペットボトルのキャップ回収などの社会貢献活動を行っていた。今年度は、地域で社会貢献活動をしたいという相談があり、そのコーディネートを行った。

内　　容：施設利用者の車いす清掃
日　　時：平成 28 年 2 月 19 日（金）
場　　所：社会福祉法人　恵比寿会　フェローホームズ

**3)たましんビジネスサービス株式会社**

内　容：地域福祉コーディネーターに相談が入り、立川全域にチューリップを咲かせ、立川のまちをきれいにしたいという希望により、球根の寄付があった。頂いた球根は、地域福祉コーディネーターと共に立川全域の自治会に声をかけ、多くの自治会にお配りすることができた。
また、社内で保管していた物品について、有効活用してほしいとの相談を受け、市内障害者団体が行っているリサイクルショップにつなげる等のコーディネートを行った。

寄付物品：防災備品、チューリップ球根、救急箱セット、卓上扇風機、涼風クールマット、電池式クールファン

**4) ジョイパックレジャー株式会社**

内　　容：プレゴ立川お客様のご寄附より、社会貢献として、思い出づくりで子どもたちが心豊かに、健やかに成長するために楽しく過ごせる時間を提供したいとの思いで、長年にわたり、さまざまな公演のチケットをご寄附していただいた。
今回もひとり親家庭や施設で生活をしている子供たち、障害を持った子どものいる家庭などに声をかけ、ミュージカルチケットの招待券を配布した

開催日時：平成 27 年 5 月 15 日(金)　17：00 開演

公演内容：丸美屋食品ミュージカル Annie

寄付枚数：30 名分

**5) 日産労連（全日産・一般業種労働組合連合会）**

内　容：日産労連が行う福祉文化活動の 1 つであるクリスマスチャリティ公演は、ハンディキャップのある子どもたちを本格的な舞台に招待するもので、劇団四季の協力のもと 1975 年から続いている。地域の福祉施設とつながりのある市区町村社協へ、取りまとめの依頼がある。今回も第 40 回クリスマスチャリティ公演ご招待券の希望者を取りまとめ、障害者施設を中心に案内を行い、たくさんの施設より申し込みがあった。

開催日時：平成 27 年 12 月 18 日(金)

公演内容：劇団四季　ファミリーミュージカル人間になりたがった猫

**6) 清水建設株式会社**

内　容：毎年 12 月に、クリスマスケーキを市内福祉施設へ寄付したいという相談を受け、障害分野の施設に声をかけ、通所施設と入所施設に分けてコーディネートをした。

**7) 東京ガス株式会社多摩支店**

内　容：サッカー観戦チケットの寄付があり、日頃、サッカー場で観戦できない養護施設等に声をかけ、子どもたちにチケットを配布した。

8)株式会社ガイア

内　容：車いす3台の寄付があり、総合学習等で
車いす体験をする際の貸出し用として利用している。

9)三菱商事株式会社

内　容：東京都と千葉県在住のひとり親家庭に対し、自然と人間とのかかわり等を学ぶ目的で開催される「母と子の自然教室」の参加者の取りまとめを行った。

10)使用済み切手、カレンダー等寄付の受付

使用済み切手を換金して、地域福祉活動に使わせていただいている。社会貢献の一つとして、今年もたくさんの企業より使用済み切手のご寄附をいただいた。

また、年度末に行われる歳末たすけあい募金の一環で、募金していただいた方に、新年度のカレンダーを配る活動のために、多くのカレンダーのご寄附をいただいた。

協力企業：立川保険サービス株式会社、誠和企画株式会社、松野商事株式会社、
東芝エレベーター株式会社、有限会社ネオスタンダード泉、
有限会社ヒロシプロジェクト、株式会社難波タオルサービス、
富国生命全国外野倶楽部立川支社、富士産業株式会社、日本電気株式会社、
石田商事株式会社

11)団体の社会貢献活動支援

・使用済み切手、カレンダー等
東京立川こぶしロータリークラブ、立正佼成会立川教会、立川市商店街振興組合連合会、
特定非営利活動法人トモニ、キャンディー介護センター

## (4)地域住民との連携による学校を核とした福祉学習の推進

地域住民や市民活動団体と協働しながら、学びあいの機会をつくった。

### ①小・中・高等学校への出前講座の実施とコーディネート

市内の小中学校から依頼を受けて、総合的な学習の時間や一般科目の中で、福祉教育、市民学習に関する、学校と市民のコーディネートを行った。この取り組みは、特定非営利活動法人自立生活センター・立川、障害当事者、地域の高齢者、市民活動団体の活動者、商店街店主、行政職員など、さまざまな市民と協働して進めている。

数年来の取り組みの中では、肯定的な変化として地域の支援者が着実に市民学習を支援する力をつけていることが挙げられる。それは生徒たちとのやり取りが向上したということに留まらず、学校との打合せにおいてプログラムを協働で作成する力や、コーディネートをする力も

身に付いているということである。プログラムの内容についても、学校の実情に合わせて臨機応変に作成してきたため、経験が蓄積されている。

1)自立生活センター・立川とのタイアップ講座の実施　/　57回

2)市民活動センターたちかわによるコーディネート　/ 2回

a)立川第二中学校

・車いす移動体験

・アイマスクをしてお金を認識する体験

・ブラインド卓球

・ロールプレイ

・全体の振り返り

b)立川第六中学校

・ブラインドウォークの実施

・車いすについてのオリエンテーション

・車いす移動体験

**②学校運営連絡協議会への参画**

砂川高等学校の教育活動が保護者や地域住民に理解され、かつ、地域に根ざし発展するための協議会に参加し、砂川高等学校の現状や課題、今後について協議した。

1)平成27年7月9日(木)

砂川高等学校の教育活動報告を受け現状と課題

2)平成27年10月9日(金)

学校評価項目についての検討

3)平成28年1月21日(木)

学校評価アンケート結果を基に学校評価について

## (5)防災・減災活動の取り組み

**①立川市災害ボランティアネットとの連携**

平成21年より、被災地で支援をした経験のある市民を中心に、立川市及び首都圏での震災発生に備えたネットワークづくりを目的とし発足された、立川市災害ボランティアネットと連携して、災害ボランティアリーダー養成講座の実施、定例会の開催など行った。

今年度の養成講座については、全講座を半日のスケジュールに変更したことにより、女性の参加者が増加し、定員数を大きく超える52名の受講生を獲得することができた。

1)災害ボランティアリーダー養成講座／7回

a)基調講演　平成27年4月26日(日)

b)防災まち歩きDIG　平成27年5月16日(土)

c)防災倉庫習熟訓練　平成27年5月30日(土)

d)普通救命講習　平成27年6月14日(日)

e)スタートトリアージ　平成 27 年 6 月 27 日(土)

f)災害ボランティアセンター立ち上げ訓練　平成 27 年 7 月 11 日(土)

g)要援護者問題についての座学・閉講式　平成 27 年 7 月 25 日(土)

2)フォローアップ等／1 回

a)養成講座修了生フォローアップ交流会　平成 27 年 11 月 29 日(日)

3)講習会／1 回

a)男女共同参画～防災のつどい　平成 27 年 10 月 9 日(金)

**②東京都・立川市総合防災訓練への参加**

発災時に災害ボランティアセンターの設置運営に関して、立川市と協定を結んでいるが、その機能や役割が十分に市民に周知されていないという課題がある。

今年度は東京都と立川市が合同で実施する合同総合防災訓練に参画し、災害ボランティセンター模擬受付訓練を行った。

訓練参加者は、災害対策ネットワーク会議のメンバーなど、市内関係機関と協働で実施し、述べ 50 人の参加があった。訓練後半は、立川市社会福祉協議会の災害ボランティアセンター運営マニュアル改定のためのワークを参加者と行った。その結果を踏まえ、来年度にマニュアルの改訂を予定している。

さらに、もう一つの訓練として、図上訓練を行い、発災後 1 週間の被害想定で、近隣 6 市の状況を北多摩西部ブロックの社会福祉協議会（国立市、国分寺市、東大和市、武蔵村山市、昭島市、立川市）職員と東京都社会福祉協議会職員で協働し地図に落とし込む訓練を行い、平時からの備えなどについて確認した。

開催日：平成 27 年 9 月 1 日(火)

場　所：国営昭和記念公園

※当日はメイン会場内のスタンプラリーの効果から、約 743 名の市民がブースに立ち寄った。

**③南口防災フェアへの出展**

毎年、立川駅南口周辺で開催される南口防災フェアに、立川市災害ボランティアネットと協働でブース出展を行っている。今年度も例年に引き続き、災害ボランティアセンターのパネル展示を行い、機能や役割の周知啓発に努めた。

開催日：平成 27 年 12 月 6 日(日)

場　所：多摩モノレール立川南駅周辺

**④首都直下地震発生時の災害ボランティア活動訓練への参画**

首都直下地震などの大規模災害が発生した場合は、ボランティア、NPO、NGO、企業など様々な民間団体による被災地での支援活動が想定される。

訓練では、被害イメージを時間経過に合わせた変化や対応を関係機関で共有するとともに、民間支援団体の特徴や動向についても共有した。

開催日：平成 28 年 2 月 29 日(月)

場　所：飯田橋セントラルプラザ

## (6)震災避難者の孤立化防止事業

震災避難者の方に定期的に電話をかけ安否確認などを行った。支援が必要と思われるケースがあれば、市民活動センターたちかわの担当者や地域包括支援センター、行政、民生委員など、関係機関と連携し個々の状況に応じた支援を行っている。震災後、4 年が経過し、借り上げ住宅など、避難者支援はいつまで続くのかという相談と共に、高齢者世帯、子育て世代など、個々のライフステージに合わせた生活課題を相談される方が増えている。

最も避難者の多い上砂町 1 丁目アパート（以下、大山団地）を中心に組織されている、「立川・東日本大震災避難者を支援する会」には、社協から対応業務を委託しサロン等を行っている。

また、市からは個人情報審査会を経て、避難者の情報提供を受け市内の避難者の状況把握を行っている。

①避難者数 59 世帯 104 名（平成 27 年 3 月末時点）

（昨年同時期：76 世帯 140 名）

1)内、大山団地（39 世帯 69 名）

2)市営住宅、その他民間住宅等（20 帯 35 名）

②戸別訪問実施　延べ 82 世帯　（大山団地）

## (7)共生社会推進のための啓発活動

偏見や差別のない「共に生きる」社会の実現に向けた啓発活動について推進した。

**■障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会**

立川における「障がい者差別禁止条例」づくりに向け、障害者権利条約、基本法、差別解消法の比較検討についての学習会を開催した。また、条例策定検討委員会に提案する事例検討を行った。

＜構成団体＞平成 27 年 6 月末現在

特定非営利活動法人自立生活センター・立川／立川市手をつなぐ親の会／
立川市精神障害者家族の会（麦の会）／立川市肢体不自由児・者父母の会・たつのこ／
在宅障害者の保障を考える会／中途失聴・難聴者「つばさの会」立川／
一般社団法人 animo／社会福祉法人幹福祉会ヘルプ協会たちかわ／
特定非営利活動法人多摩在宅支援センター円／高次脳機能障害の会・スマイル立川／
社会福祉法人すみれ会／特定非営利活動法人立川マック／特定非営利活動法人ゆるら／

特定非営利活動法人こらそん

①総会・定例会への参加/6 回

a) 平成 27 年 6 月 22 日(月)

平成 26 年度報告、平成 27 年度活動計画

b) 平成 27 年 7 月 16 日(木)

策定委員会について、通信、講演会報告など

c) 平成 27 年 9 月 24 日(木)

策定検討委員会報告、事例検討

d) 平成 27 年 11 月 18 日(水)

策定検討委員会報告、考える会取組

e) 平成 27 年 12 月 15 日(火)

策定検討委員会報告、条例項目別検討、紙芝居など

d) 平成 28 年 3 月 10 日(木)

条例骨組み案について他

②勉強会の実施/2 回

a) 平成 27 年 6 月 10 日(水)

障害者の人権を理解してもらうためのリーダー養成講座

b) 平成 27 年 8 月 27 日(木)

条例についてワークショップ

③学習会「障害者権利条約・差別解消法と条例との関係」

日　　時：平成 27 年 7 月 16 日(木)

場　　所：立川市総合福祉センター　第 2 活動室

参加者数：16 人

**■共生社会推進のための啓発イベント等の開催**

地域で生活する多様なマイノリティの啓発のために、昨年度より開催しているヒューマンライブラリー@立川を今年度も引き続き実施した。今年度は、より多種多様なマイノリティを知っていただくため、主に市民活動センターたちかわの登録団体に協力をいただき、「生きている本」の種類を増やすことができ、昨年度を超える参加者数を獲得することができた。

しかし、全国的に　普及されていないイベントであるためか、他所でのヒューマンライブラリーに参加しているリピーターが多く、立川市民の参加者が全体の半数程度であった、次回はこのイベントの意義をより多くの立川市民に伝えられるように周知に力を入れたい。

名　称：「ヒューマンライブラリー@立川 2015～生きた本との対話～」
開催日：平成 27 年 12 月 19 日(土)
参加人数：延べ 66 名
協　力：1)生きている本
a)本の人数　17 名
b)本の種類　アルコール依存症回復者、身体障害当事者、
身体障害者の家族、精神障害者の家族、
発達障害当事者、知的障害当事者、
知的障害者の家族、性同一性障害当事者、
薬物依存症回復者、ひとり親家庭当事者、
路上生活経験者
2)司書役・会場案内
a)駒澤大学文学部社会学科　坪井ゼミ　11 名
b)明治大学国際日本学部　横田ゼミ　1 名
3)当日運営ボランティア（第 38 回おもしろボランティア大学参加者）　5 名

## 3. ボランティア・市民活動支援

### (1)ボランティア活動の参加促進

ボランティアを体験する講座等を開催し、ボランティア活動に参加したい人のきっかけづくりや学びの場を提供した。

また、ボランティア活動をしやすいよう、他機関との協働により環境を整備した。

#### ①おもしろボランティア大学

地域イベントのスタッフとして参加するなどして、市民活動に触れるきっかけをつくるとともに、ボランティア活動のきっかけづくりや登録団体の活動紹介、その場に集まった参加者の学びあいの機会をつくった。

今年度は既存の催しに加えて、市民活動センターたちかわで行うイベントに付随する形でおもしろボランティア大学を開催した。これにより、ボランティア参加の機会が増え、より多くの市民が参加することが出来た。

○第36回おもしろボランティア大学

開催日：平成27年9月27日(日)

会　場：国立音楽大学

参加者：11名

テーマ：「ふれあいミュージックフェスティバル運営ボランティア」

内　容：当日配布冊子の組み込みや、参加者受付、会場案内など

○第37回おもしろボランティア大学

開催日：平成27年11月7日(土)

会　場：国営昭和記念公園　みどりの文化ゾーン

参加者：3名

テーマ：「楽市案内人ボランティア」

内　容：①会場案内プログラム

②障害のある方の買い物付き添い

○第38回おもしろボランティア大学

開催日：平成27年12月19日(土)

会　場：立川市総合福祉センター

参加者：5名

テーマ：「ヒューマンライブラリー@立川運営ボランティア」

内　容：当日の会場設営、「本」となる方の司書役など

○第39回おもしろボランティア大学

開催日：平成28年3月8日(火))

会　場：立川市総合福祉センター

参加者：6名

テーマ：「立川市総合福祉センター探検ツアー」

内　容：立川市総合福祉センター内にある社会福祉協議会の役割、各センターの機能の説明、市民活動団体等の紹介等

○第40回おもしろボランティア大学

開催日：平成28年3月26日(土)

会　場：たましんRISURUホール　展示室、サブホール

参加者：7名

テーマ：「第２回　待っています。地域の仲間と出会いのパーティー運営ボランティア」

内　容：当日の会場設営や、参加者の案内等

**②夏！体験ボランティア 2015**（ボランティア体験プログラム）

市民のボランティア活動のきっかけづくりを目的として、夏休み期間を中心に市内の福祉施設や市民活動団体と連携をとり実施した。

今年度は、福祉分野以外の団体からも体験プログラムの提供を得ており、プログラム数 89 と充実した。

既存のチラシに加え、シニア層向けのチラシの作成をすることで、幅広い年齢層からの参加者増加を図った。また、立川市のマスコットキャラクター「くるりん」をチラシに登場させ、目に留まるチラシ作成を心掛けた。加えて、多摩モノレール立川南駅の掲示板に情報を掲載し、新たな広報場所の開拓をした。

また、高校生の参加者拡大を目指し、市内の各高校へ担当者が直接お伺いし、概要説明を行うことで、ボランティア活動を身近に感じてもらえるよう周知を図った。その結果、参加者属性では以下のように、高校生の参加率が最も高い結果となった。

今後の課題としては、大学生へのアプローチが挙げられる。立川駅を経由し他市の大学へ通う大学生へ積極的に PR をし、本事業の啓発を行っていきたい。

○開催時期：7 月～8 月を中心とした夏期
○活動メニュー：市内の受入れ施設・市民活動団体等　89 プログラム　（昨年度は 84）
○参　加　者：102 名　（昨年度 101 名）
○参加者内訳：小学生　3 名、中学生 16 名、高校生 51 名、大学生院生 6 名
　　専門学校生 5 名、短期大学生　3 名、社会人 16 名、その他 2 名

**③第 2 回　待っています。地域の仲間と出会いのパーティー**

昨年度末に実施した、第 1 回「待っています。地域の仲間と学びのパーティー」において、シニア世代が定年退職後も孤立せず、このイベントをきっかけとして地域と結びつき、充実した人生の道筋をつくるために、有用なイベントであることを再認識した。今年度も引き続き、シニア世代の方が地域でいきいきと過ごしていただくためのきっかけや出会いの場を提供する。

1）平成 27 年度「待っています。地域の仲間と出会いのパーティー」実行委員会
　a）平成 26 年度開催「待っています。地域の仲間と学びのパーティー」実行委員会振り返りの会
　　平成 27 年 5 月 13 日（水）
　b）第 1 回実行委員会
　　平成 27 年 9 月 18 日（金）
　c）第 2 回実行委員会
　　平成 27 年 11 月 4 日（水）
　d）第 3 回実行委員会
　　平成 28 年 1 月 12 日（木）

e)第 4 回実行委員会

平成 28 年 3 月 8 日(火)

2)「待っています。地域の仲間と出会いのパーティー」

日　時：平成 28 年 3 月 26 日開催

会　場：たましん RISURU ホール、

地下展示室、サブホール

参　加：一般参加者　52 名

定年退職前後の男性、女性、夫婦参加もあり。

a) 市民活動団体やサークル等の参加者

（展示ブースで説明する役）33 団体　のべ 94 名

b) 協力企業、事業者（協賛団体）：23 団体

c) 広報協力企業等：5 社

d) 冊子作成協力：1 団体（市内福祉作業所）

内　容：

a)市民活動団体やサークル等の紹介

・各カテゴリーの概要を、コンシェルジュが紹介。

・参加者が関心ある団体紹介ブースを自由見学。

（自由行動）

b)活動団体の紹介を兼ねた企画(落語公演)

c)軽食を交えた参加者と団体との交流会

その他：

団体の活動紹介が掲載された「まちパ冊子」を作成。

当日配布含め、500 部作成。

協賛企業(50 音順)：

akari café/有限会社安藤畳店/株式会社いしまさコーポレーション/株式会社永光/
有限会社恵和ハウス/シミズプランニング/寿司勝/第一生命保険株式会社立川支社/
株式会社立川徽章/ 医療法人社団在和会立川在宅ケアクリニック/立川ドリンクプロジェクト/
株式会社朝雅/株式会社テイルウィンドシステム/東京パスポート学院/
株式会社トヨタ東京教育センタートヨタドライビングスクール東京/
医療法人社団健医会西砂歯科医院/ 社会福祉法人恵比寿会フェローホームズ/
株式会社 From One’s Heart/社会福祉法人幹福祉会ヘルプ協会たちかわ/株式会社マドカ/
森谷歯科医院/松浦商事株式会社/有限会社松島商店/溶岩ヨガスタジオオンザショア

**④ボランティア活動推進連絡会の開催【新規】**

市内でボランティアコーディネーターを配置している2施設の担当者と準備会を立ち上げ、各センター現状やボランティア活動推進連絡会の必要性、今後の取り組みについて協議を行った。

1)準備会の開催

平成28年3月1日(火)

**⑤ボランティア活動をしている人のための環境整備**

ボランティア活動を行う方が安心して活動できるよう、ボランティア保険および行事保険の相談、加入の受付をした。

1)ボランティア保険・行事保険の加入促進

a)ボランティア保険加入者数：4,182名

b)行事保険加入　249件　7,279名

## (2)市民活動支援

**①ボランティア情報提供希望者および登録団体との支援**

**■ボランティア情報希望者**

ボランティア情報提供希望者には、個別に対応し、希望に合わせて具体的な情報を引き出し、活動につなげるように努めている。

**■登録団体**

主に立川市を拠点として活動しているNPO法人やボランティアグループなど公益性があり、開かれた活動を行う非営利の市民活動団体を対象にした登録制度を設け、情報交換を密にすることで連携を深めた。市民活動団体の活きた情報を広く市民に公開するため、ホームページ「市民活動WEBたちかわ」の運営や「市民活動センター★たちかわ通信」を発行した。また、助成金の情報提供、機材の貸出し、市民活動団体マネジメント講座の開催など、市民活動団体それぞれの活動がより充実するための連携も図っている。平成28年度は2年ごとの更新時期にあたるため、各団体に個別に問い合わせをし、団体の状態について確認作業を行った。

○登録団体　　158グループ

- ・障害のある人や高齢者、医療に関するグループ　46グループ
- ・こどもや子育てに関するグループ　32グループ
- ・環境に関するグループ　9グループ
- ・文化・スポーツに関するグループ　32グループ
- ・多文化共生に関するグループ　4グループ
- ・地域づくり・まちづくりに関するグループ　26グループ
- ・いろいろな相談事業に関するグループ　9グループ

**②市民活動団体向け講座・研修会等の開催**

市民活動団体の目的達成や課題解決力をつけるために講座を開催し、市民活動団体の運営力の充実を図った。また、市民活動団体等に対し出前講座を開催した。

**③NPO 法人設立ガイダンス**

特定非営利活動促進法(ＮＰＯ法)の解説・法人化の意義・設立に向けた手順や事務についての内容で、年 3 回、平日夜間に開催。参加団体の活動分野は多岐に渡る。「NPO とは何か」を入り口に、多様なグループ運営の相談・質問が持ちかけられる場となっている。

ガイダンスだけでは「日程が合わない」「個別に解説してほしい」という声も多く、適宜、窓口でも相談を受け付けた。

参加者延べ人数　　36 名

多い質問　　「NPO 法人と他法人の違いについて」「役員・社員について」

| | 開催日時 | 参加者数 | 参加者の活動分野 |
|---|---|---|---|
| ① | 平成 27 年 7 月 28 日(火) | 11 名 | 介護支援団体、市民活動団体、行政 |
| ② | 平成 27 年 11 月 18 日(水) | 10 名 | 市民活動団体、行政 |
| ③ | 平成 28 年 2 月 19 日(金) | 15 名 | 障害者支援、介護支援事業、企業 |

**④NPO 法人・非営利団体のための運営実務あれこれ講座**

柔軟で特徴ある市民事業を起こす NPO 法人や非営利団体が増加している一方、運営実務能力については悩みを抱えている団体が多い。市民活動センターたちかわで行っている NPO ガイダンスや運営相談利用者からも、会計・税務・労務・定款のつくり方などに関する専門講座開催を望む声が多いため、運営基盤づくりの支援のひとつとして開催した。

開催日:①2 月 26 日(金)　②3 月 5 日(土)　③3 月 11 日(金)

会　場：立川市総合福祉センター視聴覚室、第 1・第 2 活動室

内　容：①定款のつくり方　　講師：森　玲子氏
(東京ボランティア・市民活動センタースタッフ)

②NPO 法人と会計・税務　　講師：内藤　純氏(公認会計士・税理士)

③NPO 法人と労務　　講師：井嶋　栄治氏(社会保険労務士)

参加者:①11 名　②9 名　③9 名

**⑤市民活動団体のためのマネジメント講座**

市民活動団体の活動者のために、広報における SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用について講座を開催した。今回は、それぞれの SNS の特徴・使い方・注意点等を、解説を交えながら学ぶことが出来た。

あわせて、プロボノ１DAY チャレンジに参加し、実際にホームページを作成した団体当事者の方にお越しいただき、体験談を話していただく時間を設けた。

開催日：平成 28 年 3 月 19 日(土)
会　場：立川市総合福祉センター　第 1・2 活動室
講　師：舛野生太氏
内　容：初級者向けの SNS 講座(特徴や注意点等)
　　ホームページの作成方法
参加者：18 名

**⑥出前講座の開催**

市民活動団体向けに、今後の活動が円滑に行われるよう、ボランティアに関する出前講座を行った。主に団体への新規登録者を対象に、ボランティアの概念や注意事項について、お伝えした。

1)特定非営利活動法人フラワーセラピー協会
　開催日：平成 27 年 8 月 5 日（水）
　参加者：参加者 6 名

2)任意団体 Design Lab.t.s.d.c/　2 回
　a)開催日：平成 27 年 8 月 19 日(水)
　参加者：8 名
　b)開催日：平成 28 年 3 月 11 日(土)
　参加者：7 名

## (3)市民活動団体助成事業、団体立ち上げ相談の実施

市民活動団体の立ち上げや事業の継続を支援し、活動の安定・充実を図った。

**①市民活動団体助成事業の実施**

年度途中で立ち上がった団体からの追加申請が 2 件あったため、申請に合わせ審査会を設け、イベントや講座の運営費の助成を行った。

○ファーストステップ助成　　7 団体　　348,642 円
○事業継続支援助成　　8 団体　　400,000 円

| No. | 団体名 | 申請区分 | 申請内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | アミーゴス | 市民交流事業 | 障害児健康促進事業 |
| 2 | 子どもの未来を考える会 | 市民交流事業 | 高齢者生きがいづくり寺子屋事業 |
| 3 | ワッカチッタ | 市民交流事業 | 0 歳児の親子のためのイベント「ワッカフェ　with Baby」 |
| 4 | 非営利団体ＳawakaＬab | 市民交流事業 | 0 歳からのクラシックコンサート企画・運営事業 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5 | 特定非営利活動法人トモニ | 社会福祉に関する普及活動 | 工賃アップのための物品購入 |
| 6 | 立川市アマチュア無線クラブ | 市民交流事業 | 市民に開かれた立川市アマチュア無線クラブの発展事業 |
| 7 | 子育て交流ひろば<br>立川おもちゃ図書館ぱれっと | 市民交流事業 | 子育て中の親御さんとその子ども達のための居場所づくり |
| 8 | おはなしたまご | 市民交流事業 | 藤田浩子さんのおはなし会 |
| 9 | 三多摩市民後見を考える会 | 社会福祉に関する普及活動 | 成年後見制度の啓発・普及活動 |
| 10 | 立川市聴覚障害者協会 | 社会福祉に関する普及活動 | 聴覚障害者のＱＯＬ向上の促進 |
| 11 | 特定非営利活動法人<br>立川子ども劇場 | 市民交流事業 | 乳幼児サークル「しゃぼんだま」 |
| 12 | 特定非営利活動法人<br>バイオマス産業機構 | 市民交流事業 | 陶芸・陶板教室 |
| 13 | 子育て支援ボランティア<br>ミニトマの木 | 市民交流事業 | 子育て支援ボランティア講座 |
| 14 | Dear Mother | 市民交流事業 | ママとベビー、キッズのためのフリーマーケット |
| 15 | リカバリーカレッジたちかわ | 市民交流事業 | リカバリーカレッジたちかわ冬期ミニ講座 |

**②市民活動団体・NPO 法人の立ち上げ支援**

市民活動団体の立ち上げ相談を随時受け付け、創業支援ネットワークと連携しながら、立ち上げ支援を行った。NPO 法人の設立方法についての相談が多いため、場合によっては NPO 法人設立ガイダンスへの参加を促すなどして対応した。

○NPO 法人の立ち上げ

1)特定非営利活動法人　ＳＯＵ

法人格の取得に向け、NPO に関する相談や、必要書類の書き方などを支援し、平成 28 年 3 月に法人格を取得しました。

**③他団体の助成事業の推薦**

他団体が実施する助成金事業に対し、市民活動団体等が申請する際に市民活動センターたちかわからの推薦が必要な場合は、地域福祉の推進につながる活動であるかを精査し、推薦を行った。

1)ユニベールボランティア東京

2)特定非営利活動法人　ＳＯＵ

**④民間助成の周知**

民間団体の助成情報を、市民活動センターたちかわのホームページや広報紙に掲載するほか、対象となる団体に個別に送付し、市民活動団体やボランティアグループに周知した。また、今年度は助成団体と協働で説明会を設けた。

1)東京の緑を守ろう助成プロジェクト説明会
開催日：平成 27 年 11 月 19 日（木）
場所：立川市総合福祉センター2 階　視聴覚室
参加者：6 名

## (4)住民グループの組織化支援

**■支えあいサロン活動登録制度の登録受付・相談、活動費助成**

市民の孤立を防ぎ、身近な地域の中で緩やかなつながりを継続できる場として、隣近所単位のたまり場活動である「支えあいサロン」の運営を地域づくり係との連携を図りながら支援した。登録グループは、子育て中の人が多く集うサロンと、高齢者中心のサロンとに分けることができる。

今年度は、既存の登録グループを整理したことで、登録数自体は一旦減少したものの、地域福祉コーディネーターの増配置もあり、新規登録グループ数も多かった。今後は、介護保険制度の改正に伴い、総合事業において、増々高齢社会における重要な取り組みの一つと位置づけられるため、一つでも多くサロンが立ち上がるよう支援していきたい。

○登録サロン数　149 ヵ所（休止４サロン含む）
・高齢者サロン：122 ヵ所
・子育てサロン：25 ヵ所
・その他サロン：2 ヵ所

## (5)グッドネイバー運動推進団体、地域関係団体との連携

市民が地域の中で、共に学び、参加し、支えあうまちづくりをすすめる目的で、市内 4 ヵ所（栄町、若葉町、柴崎町、西砂町・一番町）にグッドネイバー運動推進団体を指定し、活動費の助成や情報交換を行っている。平成 16 年に行なった本会の地域福祉市民活動計画及び立川市の地域福祉計画の策定時は、この 4 地区で地域懇談会を開催し、両計画に反映させた。

西砂町・一番町では松中小学校内ふれあい交流室での子どもの見守り活動が定着し、地域の中で大きな力となっている。また、柴崎町では学校と地域のつなぎ役として子どもの居場所づくりだけではなく、生活支援講座の中で、地域課題を共に考え、解決できるような機能も果たしている。市民活動センターたちかわとしては、地域での協議の場をつくり出すような役割を引き続き果たしていくことも期待している。

## (6)市民活動情報の受発信機能強化

市民活動、ボランティア活動への参加を促進するために、関連する情報の収集、掲示に努めた。

**①市民活動センター★たちかわ通信の発行：14 回／488,450 部**

市民活動センター
★たちかわ通信

◆編集・発行◆
社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ
〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47
☎ 042-529-8323 ／ Fax:042-529-8714
✉ siaivo@whi.m-net.no.jp ／ URL：http://www.tachikawa-shakyo.jp/sket/
◆開所日・時間◆
月～金曜日 8:30～19:00／土曜日 8:30～17:00 ※日曜日・祝祭日はお休みです。

市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2018・Vol.100

祝！！市民活動センター☆たちかわ通信100号

新年と共に、本誌が１００号を迎えることをお慶び申し上げます。

また日頃より、市民活動センターへのご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、新年の迎え方には、日本各地のみならず世界中で様々なものがあり、それはそれぞれの地域の風土、歴史、人種、宗教感など多様な要素で現在の形が出来上がっているものと思います。ＴＶなどで見る世界各地の変わった風習などにも大いに興味を引かれます。

ところで、多様な価値観と多くの文化は、交わることの難しさと同時に、心を通わせ、お互いに理解できた時に大きな喜びを教えてくれます。ｓ歳、多文化共生交流の場で、ブラジルから日本に仕事に来ている方から「日本の皆様に、日本語を教えて頼いたり、仕事のお世話を受け感謝しています。私たちから皆様にお返しできることは少ないのですが、でも、もっと人生を楽しむことでしたらすぐにでも私たちは皆様に教えることができます」と、笑顔で語られました。逆に教えられた感と同時に相互理解の必要性を痛感しました。

市民活動センターたちかわの活動が、多くの皆様の参加、様々な交流、そして何よりも相互の理解を深めることによって「新しいたちかわの創造」に繋がることを期待しています。

立川市社会福祉協議会
会長 鈴木 茂

新年あけましておめでとうございます。

「立川・ボランティアセンター」から「市民活動センターたちかわ」へ改組したのは平成15年でした。本年、平成28年は、14年目に入ってまいります。この間に積み重ねた「市民活動センター☆たちかわ通信」がが、第100号発刊を迎えました。皆様と共に、ボランティア普及、市民活動団体支援、地域住民力づくり、多様な協働の推進、等々、幅広く取り組んでまいりました。日頃より市民活動センターと同一線に歩んでくださった皆様に心より感謝申し上げます。社会に目を向けると、身近な地域から、国際情勢に至るまで、異なる立場の融和が重要な時代であると痛感いたしております。お互いを認めない相互理解を深め、排除から包摂へ向けての取り組みが、より一層、必要だと感じます。多様なものが、ぶつかりあうだけでなく、多様であるが故に相乗効果を意識して協力し働き、力を結集する。協働することの重要を見出していきたいです。誰もが有する優しく温かい気持ちをボランティア等の各種社会貢献 活動に現し、助けあい、支えあい、隣人を思いやる、地域社会の受け継ぐになるような行いを増やしていく。市民性の向上、住民力の充実こそが、誰もが暮らしやすい私たちの立川や、世界平和にも繋がるのではないでしょうか。志を高く持ち、使命を果たしてまいりたいと願います。市民活動センターは、民間組織ではありますが、公的な務めを担う立場としての自覚を深め、皆様の期待に応えていけますように、今後とも精進を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

運営委員長
宮本由樹

1

ボランティアやNPOに関する取材記事、情報を毎月１回、情報紙として発行した。

市民が自由に情報を得られるよう、図書館、学習館などに設置すると同時に、市内協力店にも設置しているほか、関係機関、市民活動団体などには直接送付している。毎月、立川市協働推進課を通じ、砂川地区の「みの～れ立川」にも設置している。また、読売新聞立川北部サービスセンターの協力により、栄町、高松町、曙町の一部においては新聞折り込みにより配布している。富士見町地区の自治会に関しては、自治会ごとに回覧していただいている。

さらに、年５回（５月、７月、10 月、12 月、２月）は、立川市社会福祉協議会の機関紙である「あいあい通信」内に情報を掲載して市内全戸配布している。団体からは、開催する講座やボランティア募集のお問い合わせをいただいたという声が寄せられた。

平成 23 年度より、小中学生と保護者を対象にした通信「市民活動センター★たちかわ通信学校便」市立小中学校に通う生徒に配布し、これからの地域活動の中核を担っていく世代へ情報を提供ている。

・市民活動センター★たちかわ通信
　４月、６月、９月、11 月、１月、３月：6,100 部×6 回　計　36,600 部
・市民活動センター★たちかわ通信学校便
　７月、12 月、３月：13,950 部×3 回　計　41,850 部
・あいあい通信に情報掲載
　５月、７月、10 月、12 月、２月：82,000 部×5 回　計 410,000 部

**②市民活動センターホームページ「市民活動 WEB たちかわ」の運営**

インターネット上にてボランティアの募集情報や市民活動団体のイベント情報などを配信。登録した市民活動団体については、団体自身のパソコンで情報配信できる機能を活用できるようにしている。

市民活動団体からの情報発信が増加すると同時に、ホームページの閲覧をきっかけにセンターへの問い合わせや、活動への参加につながること等が年々増加した。

**③ボランティア・市民活動情報コーナー、図書コーナーの設置**

総合福祉センター2 階に、自由に書籍を閲覧できる図書コーナーに加え、1 階には、チラシなどを入手できるボランティア・市民活動情報コーナーを設置している。また、情報検索ができるコーナー「フリースポット」も設置し、市民が気軽に情報を入手できるようにしている。

活動分野・内容・形態ともに多様な団体が情報を寄せてくださるようになっている。また、直近のイベント等の情報を集めた専用コ-ナーも設け、ほぼ１～２週間で次々と内容が更新される状況にしている。

豊富な情報収集と同時に、必要としている情報を絞り込んだり、新たな情報を引き出したりすることもセンターの役割である。

○情報数：約 3,600(まちづくり/保健・医療・福祉/多文化共生・海外支援/生涯学習/子ども/環境・動物保護/災害援護活動/文化・芸術・スポーツ/人権/NPO/ボランティア募集/資格取得/組織マネジメント/ファシリテーションなどのテーマに関する情報)

○貸出図書：16 人/33 冊

**④市民活動団体リスト**

市民活動センターたちかわ登録団体の紹介冊子「市民活動センターたちかわ登録グループ紹介 BOOK」を 2 年更新で発行している。

「市民活動センターたちかわ登録グループ紹介 BOOK」　掲載団体　158 団体

## (7)市民活動活性化のための環境整備

市民活動団体の活動が円滑に行われるよう、ハード面、ソフト面においてその一助となるサービスを整え、提供できるよう努めた。

**①印刷機・拡大印刷機**

**＜利用実績＞**

| | 印　刷　機 | | 拡大印刷機 | |
|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 41 件 | 21,450 円 | 12 件 | 9,450 円 |
| 5 月 | 31 件 | 13,750 円 | 7 件 | 4,150 円 |
| 6 月 | 32 件 | 12,400 円 | 6 件 | 1,920 円 |
| 7 月 | 26 件 | 9,050 円 | 6 件 | 10,020 円 |
| 8 月 | 19 件 | 8,400 円 | 10 件 | 9,380 円 |
| 9 月 | 27 件 | 10,450 円 | 13 件 | 12,430 円 |
| 10 月 | 33 件 | 21,400 円 | 16 件 | 19,350 円 |
| 11 月 | 19 件 | 5,700 円 | 12 件 | 4,520 円 |
| 12 月 | 17 件 | 7,050 円 | 4 件 | 3,080 円 |
| 1 月 | 21 件 | 10,600 円 | 6 件 | 4,360 円 |
| 2 月 | 22 件 | 16,600 円 | 5 件 | 3,350 円 |
| 3 月 | 27 件 | 14,250 円 | 13 件 | 9,090 円 |
| 合計 | 315 件 | 151,100 円 | 110 件 | 91,100 円 |

**②パソコン・図書・車椅子の貸出し**

＜利用実績＞

| | パソコン | 図　　書 | | 車椅子の貸出し | |
|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | 9件 | 2件 | 4冊 | 0件 | 0台 |
| 5月 | 4件 | 1件 | 3冊 | 2件 | 23台 |
| 6月 | 3件 | 1件 | 3冊 | 5件 | 52台 |
| 7月 | 5件 | 0件 | 0冊 | 5件 | 46台 |
| 8月 | 12件 | 0件 | 0冊 | 0件 | 0台 |
| 9月 | 12件 | 2件 | 6冊 | 2件 | 21台 |
| 10月 | 14件 | 7件 | 5冊 | 7件 | 53台 |
| 11月 | 7件 | 4件 | 2冊 | 4件 | 41台 |
| 12月 | 3件 | 5件 | 2冊 | 5件 | 57台 |
| 1月 | 6件 | 2件 | 1冊 | 2件 | 22台 |
| 2月 | 5件 | 4件 | 4冊 | 4件 | 43台 |
| 3月 | 10件 | 0件 | 3冊 | 0件 | 0台 |
| 合計 | 90件 | 16件 | 33冊 | 36件 | 358台 |

**③各種備品の貸出**

＜利用実績＞

| 備　品　名 | 団　体　数 | 貸し出し数 |
|---|---|---|
| アイマスク | 7件 | 延べ210枚 |
| 疑似体験（浦島太郎）セット | 2件 | 延べ4セット |
| 白杖 | 5件 | 延べ38本 |
| 点字 | 1件 | 延べ1台 |
| マイクスタンド | 14件 | 延べ17本 |
| スピーカーアンプ | 24件 | 延べ24台 |
| ラジカセ | 1件 | 延べ1台 |
| DVDプレイヤー | 13件 | 延べ13台 |
| コードリール | 4件 | 延べ4個 |
| プロジェクター | 21件 | 延べ22台 |
| 延長コード | 15件 | 延べ15本 |
| スクリーン | 4件 | 延べ4台 |
| テント | 2件 | 延べ6張 |
| パネル | 2件 | 述べ16枚 |

**④ボランティアルームの管理運営**

ふじみボランティアルーム・団体交流室（立川市総合福祉センター2 階）

＜利用実績＞

| | ふじみボランティアルーム | 団体交流室 |
|---|---|---|
| 4 月 | 36 団体 | 28 団体 |
| 5 月 | 29 団体 | 20 団体 |
| 6 月 | 37 団体 | 31 団体 |
| 7 月 | 32 団体 | 16 団体 |
| 8 月 | 28 団体 | 20 団体 |
| 9 月 | 29 団体 | 19 団体 |
| 10 月 | 29 団体 | 23 団体 |
| 11 月 | 25 団体 | 21 団体 |
| 12 月 | 22 団体 | 17 団体 |
| 1 月 | 24 団体 | 13 団体 |
| 2 月 | 27 団体 | 21 団体 |
| 3 月 | 24 団体 | 30 団体 |
| 合計 | 342 団体 | 259 団体 |

## (8)コミュニティ備品の貸出し

立川市の備品であるコミュニティ備品（コミュニティづくりのために行う地域の文化活動や、レクリエーション等の行事に必要な備品）について、登録団体・公共団体等に貸し出しを行った。

また、より一層のサービス向上を目指し、利用者向けのアンケートを実施した。アンケート結果は概ねよかったという意見であったが、「一部足りない部品があった」、「故障していて使えなかった」等の意見があり、改めてすべての備品の点検を行い、改善を図った。

なお、3 月に不備のある備品については修繕を行っている。

①コミュニティ備品の貸出

1)利用団体数/79 団体

a)自治会・子ども会 33 団体

b)保育園・幼稚園　11 団体

c)立川市施設等　9 団体

d)学校　5 団体

e)その他(企業・福祉施設等)　21 団体

2) 貸出備品件数　/　183 件

## 4. 学校介助員事業

### (1)小中学校の介助員事業の充実とコーディネート

立川市が配置する通常学級における小中学校介助員について、市内のヘルパー派遣事業所から職員が配置されるようになって5年が経過している。市民活動センターたちかわでは、制度を充実させるため、立川市教育委員会、学校、事業所間の教育と福祉という異なった分野のコーディネートを行ってきた。

今年度は、小学校より中学校の生徒の割合が多くなり、スキー教室等の宿泊を伴う行事などにおける人材の確保等、事業所が直面する課題に向き合い、学校介助員不足を解消するために、学校介助員事業オリエンテーションを開催した。全体で説明会を設けることにより、複数の市民が新たな介助員として働いてもらうことが出来た。

また、今年初めて中学3年生が都立高校を受験し、入試における介助員派遣を行った。

**■介助員にかかる、市と事業者、学校間のコーディネート**

・対象校／9校

第一小学校、第三小学校、西砂小学校、大山小学校、上砂川小学校

第一中学校、第三中学校、第五中学校、第八中学校

・対象児童・生徒／のべ14名

・事業者数／5事業者　(※下記表記は「法人名」(事業所名)。)

「特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ」(ケア・センターやわらぎ・立川)

「社会福祉法人にんじんの会」(ケアステーションにんじん・立川)

「社会福祉法人にんじんの会」(ケアステーションにんじん・玉川上水)

※年度途中よりケアステーションにんじん立川へ統合

「医療法人社団東京石心会」　(立川介護老人保健施設わかば)

「社会福祉法人立川市社会福祉協議会」(立川市社会福祉協議会ホームヘルプサービス)

○会議等の開催

・事業者連絡会議　平成27年6月29日(月)　/　平成28年1月6日(水)

・教育委員会等との会議・打合せ　平成27年4月21日(火)　/　平成27年10月8日(木)

・学校、保護者、事業者等との会議・打合せ・面談　32回

・介助員全体研修　平成28年1月6日(水)

(※ その他、車いす昇降機訓練など、事業所個別研修等への開催調整、立会い等実施)

## 5. その他

### (1)視察研修・取材の受入れ

他地区のボランティアセンターや運営委員会の視察研修やヒアリングを受け入れた。

○菊川市職員視察

○東京都福祉保健局「東京ホームタウンプロジェクト」

### (2)各種企画委員会やプログラムへのスタッフ派遣

関係団体や行政機関などが主催する各種委員会、研究会にセンタースタッフ自身が参画することで、新たなニーズや情報を掴み、ネットワークづくりをする機会とした。

○たちかわ楽市実行委員会・企画運営委員会

○立川市文化芸術のまちづくり協議会

○立川市人権学習事業実行委員会

○立川市創業応援プロジェクト

○立川市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会

○立川市虐待防止担当者連絡会

○学校運営協議会（砂川高校）

○立川市子ども・若者自立支援ネットワーク会議

○障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会

○東京ボランティア・市民活動センター長会議

○東京都災害ボランティアセンター・アクションプラン推進会議（幹事会・全体会）

○東京都社会福祉協議会災害時職員派遣プロジェクト

○北多摩西部ブロック社協職員連絡会

○北多摩西部ブロックボランティア担当者連絡会

○世界ふれあい祭実行委員会

○立川市災害ボランティアネット総会・定例会

○東京都社会福祉協議会孤立化防止事業連絡会

○アール・ブリュット立川 2015 実行委員会

○市民活動支援協議会（Studio-L）

○立川市地域猫登録団体連絡会

○平成 27 年度地域福祉フォーラム実行委員会

### (3)センタースタッフによる講師等の派遣

関係団体が実施する講座、講演会等にスタッフを派遣し、協働した。

○東京都社会福祉協議会　センター長会議「組織改正後の立川市社会福祉協議会のあり方」

○三菱東京 UFJ 銀行新人職員研修「ボランティアについて」

○多摩信用金庫新任職員研修「ボランティアについて」

○特定非営利活動法人フラワーセラピー研究会「ボランティアについて」

○任意団体 Design Lab t.s.d.c「ボランティアについて」

## (4)実習生の受入れ協力

国家資格である社会福祉士の取得を目指す実習生を積極的に受入れ、人材育成に寄与した。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○日本社会事業大学 | 1名 | ○東洋大学 | 1名 |
| ○武蔵野大学 | 1名 | ○立教大学 | 1名 |
| ○明星大学 | 1名 | ○白梅学園大学 | 1名 |
| ○法政大学 | 1名 | ○学芸大学 | 1名 |
| ○日本福祉大学 | 1名 | | |

合　計　　9名（2～6日間）

## Ⅲ. 平成 27 年度の市民活動センター事業を振り返って

人口の減少や少子高齢化の進展、家族や地域の支え合い機能の低下などが続く社会状況下、数年来の日本経済の低迷にも回復の兆しのニュースが聞かれる年となった。平成 27（2015）年度は、貧困の連鎖を防止する観点から生活困窮者に対する包括的な相談支援や多様な就労支援、生活支援などを行う「立川市くらし・しごとサポートセンター」を法人内に立ち上げ、多くの相談者が来所した 1 年となった。

このような中、平成 27 年度からの地域福祉市民活動計画第 4 次「立川あいあいプラン 21」が策定され､地域福祉コーディネーターが全地区に配置されたことで､新たに地域づくり係が新設され、市民活動センターたちかわから地域福祉コーディネーターが独立した。さらに、介護保険の改正にともない、生活支援コーディネーターの新規配置も行われた。

また、東日本大震災の発生から 5 年余りが経過する中、立川市や関係機関と協働して立川市内で避難生活を送られている方々の孤立防止などの取り組みも継続する中で、9 月には茨城県常総市を中心とした風水害が発生し、尊い生命を失われた皆さまに哀悼の意を表するとともに、一日も早い被災地の復興と被災された皆さまの生活再建を祈りつつ、震災から得た教訓を風化させてしまうことなく、地域の防災減災の取り組みに活かすことを確認する 1 年でもあった。

### 1. 平成 27 年度立川市社会福祉協議会　重点推進事項の推進

立川市社会福祉協議会は、平成 27 年度の重点推進事項として、①「第 4 次立川あいあいプラン 21」の推進､②地域福祉コーディネーター配置による住民福祉活動の推進､③地域包括ケアの推進、④市民参画のよる権利擁護の推進、⑤生活困窮者対策の推進、の 5 点を掲げ事業を進めてきた。

中でも、市民活動センターたちかわは、①「第 4 次立川あいあいプラン 21」の推進において、総務担当者とともに、推進委員会の事務局を務め、立川市内の地域福祉の推進について、市民委員とともに行った。

### 2. 運営委員会によるセンター運営

運営委員会では、平成 27 年 6 月に 2 年任期の委員改選が行われ、新たな委員 15 名でのスタートを切った。これを機に、これまで運営委員会の下に置かれてきた 3 つの専門委員会を新たな視点で機能する 2 つの専門部会に変えるとともに、現地開催の運営委員会や運営委員すべてで助成金の審査会を行うなど進めてきた。

①協働部会：

「豊かな市民力をつむぎ、さまざまな価値観の縦糸と横糸が織りなす協働の場をつくっていきます。」というスローガンを決めた。

部会の中で、企業等が社会貢献活動の場を求める相談が多く入り、市民活動センターたちかわがどのように対応するかなど検討を進め、来年度さらに発展的に支援できるようなメニューや具体的な事例集を作成することとなった。

学校との協働については、小中学校で行われている総合学習の充実だけでなく、来年度は、関わ

りのなかった学校の現状を把握し、協働できるように努る。

1)市民と行政機関との協働の推進

2)関係機関・団体との連携や協働事業の実施

3)企業等との協働事業の実施や社会貢献活動の支援

4)福祉教育・市民学習の推進

5)共生社会推進の啓発活動（ヒューマンライブラリー@立川）

②ボランティア部会：

「思いやりの気持ちを行動に移しませんか？『ありがとう』に出会える生き活きとした地域活動のきっかけを作ります」というスローガンを決め、「夏！体験ボランティア」の周知やその後の定着についての検討を行った。また、市民活動に参加するきっかけづくりの仕組みを検討し、年1回の開催であった「おもしろボランティア大学」について、きっかけの場は多くあった方が良いという結論から、年5回開催するができた。

1)ボランティア活動の参加の促進

2)市民活動団体の登録制度

3)「待っています。地域の仲間と出会いのパーティー」実行委員会、企画

## 3. 住民のつながりづくりの促進（地域福祉コーディネーターの連携）

昨年度までは、市民活動センターたちかわに地域福祉コーディネーターが配属されていたが、今年度は新たに地域づくり係が新設された。地域福祉コーディネーターは地域づくり係に配属となり、一体的に地域福祉を推進していたセンター機能が大きく変化し、市民活動センターたちかわは、「テーマ型」で支援し、地域づくり係は、「地縁型」で支援するという位置づけになった、しかし、地域福祉を推進するという点においてはお互いの連携は必須で、お互いの強みを生かしながら連携強化を意識して活動を行った。

## 4. 様々な団体や企業との協働の推進

今年度は、企業の社会貢献活動にも力を入れ、多くの相談を受けた。その一つとして、第一生命保険株式会社立川支社との協働では、当初、バザーの収益を寄付したいという相談であったが、地域でバザーを行うのであれば、その地域で活動している団体と一緒にイベントを開催したらどうかと提案した。障害者の作業所からのクッキー販売や地域団体からのフラワーアレンジメントの体験、地域包括支援センターによる健康相談を行い、企業の方やバザーにきたお客さんともふれあい、お互いの活動を知る機会となった。さらに、地域活動団体が活動するスペースが不足していることを支店長が知り、使用していない時であれば、会議室を利用していいという新たな社会貢献にも発展した。

もう一例では、地域福祉コーディネーターから、たましんビジネスサービス株式会社の社会貢献についての相談があった。たましんビジネスサービス株式会社で保管している3,000個のチューリップの球根を地域の団体に寄付し、チューリップの花で立川のまちをきれいにしたいという内容であったので、自治会に声をかけ、35の自治会で球根を大切に育てていただいている。たましんビジ

ネスサービス株式会社は、それ以外にも、職員の福利厚生用に購入したが、余ってしまった物を有効活用してほしいということで、障害を持った方が働いているリサイクルセンターにつなぐ等コーディネートも行った。

それ以外にも、大和ハウス工業株式会社多摩支店の社員が特別養護老人ホームにおいて車椅子の整備や清掃を定期的に行う活動もコーディネートした。企業としてもどのようなことが社会貢献につながるか知らないことも多く、使用済み切手やペットボトルのキャップの寄付なども社会貢献につながることを伝え、多くの企業が取り組んでいただけた。

また、東京ホームタウンプロジェクトの 1 DAY プロジェクトにも関わり、市内 3 つの市民活動団体の支援につなぎ、団体の課題解決に向けた取り組みが出来た。

## 5. 地域活動へのきっかけづくり

昨年度までは、ボランティア活動等への参加のきっかけとして、おもしろボランティア大学を年 1 回開催していたが、その 1 回を逃してしまった市民が、1 年間待たなければならないという現状があり、きっかけの場は多くあった方が良いという意見から、市民活動センターたちかわで企画実施するイベント（ふれあいミュージックフェスティバル 2015、たちかわ楽市案内人、ヒューマンライブラリー@立川、待っています。地域の仲間と出会いのパーティー、総合福祉センター探検隊）の場をおもしろボランティア大学と位置づけ、運営委員の力を借りながら実施することが出来た。全 5 回開催し、参加人数は 32 名。参加者からは「ありがとうと言われて嬉しかった」「実際のイベントの運営を手伝ったが、皆、親切にしてもらえ、今後は他のこともやってみたくなった」「これぐらいのことでもボランティアということが驚いた」などの声があり、新たなきっかけづくりの場を提供できた。

また、今年度、第 2 回目の開催となる「待っています。地域の仲間と出会いのパーティー」では、昨年度より参加者数と団体数は減少したが、参加者が団体とつながり、会員になったり、講座に参加する方がいたなど、一定の成果が上がったと思われる。

## 6. 震災対策の強化

東日本大震災より 5 年が経過したが、地域においては災害対策への関心は未だに高いと考えられる。しかし震災直後の混乱や教訓が次第に薄まってしまう前に、この機を逃さぬよう、市民活動センターたちかわは、関係機関・団体と協働してさまざまな震災対策を行ってきた。

今年度は東京都と立川市が合同で実施する合同総合防災訓練に参画し、災害ボランティセンター受付訓練を行った。訓練参加者は、社協職員をはじめ、災害対策ネットワーク会議のメンバーなど、市内関係機関と協働で実施した。訓練後半は、立川市社会福祉協議会の災害ボランティアセンター運営マニュアル改定のためのワークを参加者と行うことができた。

さらに、もう一つの訓練として、近隣 6 市の状況を北多摩西部ブロックの社会福祉協議会（国立市、国分寺市、東大和市、武蔵村山市、昭島市、立川市）職員と東京都社会福祉協議会職員で協働し、発災後 1 週間の被害想定で、地図に被害状況を落とし込む図上訓練を行い、平時からの備えなどについて確認した。

人材育成とネットワークの強化では、関係団体と協働で、第Ⅳ期となる『災害ボランティアリー

ダー養成講座』を開講し、災害時の人材養成を図ったほか、災害時に関係機関と連携するための、『災害対策ネットワーク会議』を開催し、立川での発災に備える災害対策を進めた。

それらに加えて、立川市社会福祉協議会全体としては、真如苑、公益財団法人立川青年会議所、エフエムラジオたちかわ株式会社と災害時の協定を結び、平時から災害に備える体制整備を行った。また、正規職員と嘱託職員を対象に、参集訓練を実施し、実際の備蓄品を使用して訓練を行った。

## Ⅳ. 平成 28 年度に向けて

平成 28 年度は、平成 27 年度からの「第 4 次立川あいあいプラン 21」の 2 か年目となるが、大きく市民活動センターたちかわの事業は変化させず、より充実した事業を展開していきたい。

○運営委員会によるセンター運営

運営委員会として、センターの運営方針や評価を適切に行ってもらいながら、市民や団体に求められる市民活動とは何か、その中で市民活動センターたちかわとしての役割は何かを議論し、一定の方向性を出したい。

○協働の推進

企業との協働（社会貢献活動）と学校との協働に力を入れ取り組んでいきたい。そのために、今までの実践をわかりやすく見える形にし、気軽に参加できる社会貢献活動と、新たな総合学習のメニュー化等を行いたい。また、平成 28 年度で第 3 回を迎える、ヒューマンライブラリー@立川において、今まで以上に、立川市民に周知を行い、立川から偏見のない社会を作っていきたい。

○ボランティア・市民活動支援

日々の相談を丁寧に受け付け、その方が求めていることや、やりたいことを一緒に考えながら、ひとり一人に合った支援を行っていきたい。

また、市民活動団体から必要とされるセンターを目指し、日々の相談や新規団体登録にも力を入れていきたい。さらに、地域福祉コーディネーターや生活支援コーディネーターと連携し、市民活動団体の力が必要な場合は積極的に関わり、より良い地域づくりを進めていきたい。

また、夏！体験ボランティアをはじめ、おもしろボランティア大学などを通し、気軽にボランティア活動や市民活動を行うきっかけづくりの場と、その後の定着支援を確実に行いたい。さらに、東京オリンピック・パラリンピックにおける、ボランティア活動についても検討する。

第 3 回目となる、「待っています。地域の仲間と出会いのパーティー」を確実に行い、新たな市民の活動の場の提供と、市民活動団体同士も連携の場として開催していきたい。

○地域住民の孤立の防止

市内で連続発生した痛ましい孤立死事件を防ぐため、住民の誰もが孤立しない生活を送れるように、地域の「縁側」や「井戸端」といったたまり場、交流の場としての「支えあいサロン」活動を地域福祉コーディネーターとともに推進する。また、住民相互の助けあい活動などの支援を通し、誰も孤立することのないまちづくりに取り組んでいきたい。

○防災・減災対策の強化

関係団体と協働した災害ボランティアリーダー養成講座の開催、事業継続計画（ＢＣＰ）と

連動した「災害ボランティアセンター」立ち上げの実践的訓練の実施、災害時の関係機関との連携を深めるための災害対策ネットワーク会議の開催など、発災時の備えを強化するとともに、これらの対策を通じて、互いに日頃から顔の見える関係づくりを地域に実現していきたい。

○各種委員会・協議会などへ参画しての新たなネットワークづくり

センターへの期待値の高まりと共に、各種委員会や協議会などの参画依頼は増えている。ネットワークづくりの機会として積極的に参画していく。

以上、主な重点事業を掲げたが、「運営委員会によるセンター運営」、「協働の推進」、「市民活動支援」のキーワードに基づいた事業を着実に進めていきたい。

## Ⅴ. 市民活動センターたちかわ平成 27 年度収支決算(概略)

(単位円)

| 科　　目 | 予　算(A) | 決　算(B) | 差　異(A-B) | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 会　費　収　入 | 1,646,000 | 1,520,000 | 126,000 | |
| 寄　付　金　収　入 | 2,446,000 | 2,553,000 | △107,000 | |
| 経常経費補助金収入 | 18,477,000 | 17,456,999 | 1,020,001 | |
| 受　託　金　収　入 | 13,685,000 | 13,684,600 | 400 | |
| 事　業　収　入 | 550,000 | 438,400 | 111,600 | |
| そ　の　他　の　収　入 | 841,000 | 1,291,284 | △450,284 | |
| **事業活動収入計** | **37,645,000** | **36,944,283** | **700,717** | (1) |
| 人　件　費　支　出 | 30,585,000 | 28,464,492 | 2,120,508 | |
| 事　業　費　支　出 | 4,222,000 | 4,317,030 | △95,030 | |
| 事　務　費　支　出 | 1,354,000 | 1,070,209 | 283,791 | |
| 助　成　金　支　出 | 3,466,000 | 2,372,752 | 1,093,248 | |
| そ　の　他　の　支　出 | 285,000 | 285,000 | 0 | |
| **事業活動支出計** | **39,912,000** | **36,509,483** | **3,402,517** | (2) |
| **事業活動資金収支差額** | **△2,267,000** | **434,800** | **△2,701,800** | (3) =(1)-(2) |
| 拠点区分間繰入金収入 | 15,720,000 | 16,025,000 | △305,000 | |
| **その他の活動収入計** | **15,720,000** | **16,025,000** | **△305,000** | (4) |
| ｻｰﾋﾞｽ区分間繰入金支出 | 514,000 | 514,000 | 0 | |
| その他の活動による支出 | 1,586,000 | 1,901,370 | △315,370 | |
| **その他の活動支出計** | **2,100,000** | **2,415,370** | **△315,370** | (5) |
| **その他の活動資金収支差額** | **13,620,000** | **13,609,630** | **10,370** | (6) =(4)-(5) |
| 予　備　費　支　出 | 0 | 0 | 0 | (7) |
| **当期資金収支差額** | **11,353,000** | **14,044,430** | **△2,691,430** | (8) =(3)+(6)-(7) |
| **前期末支払資金残高** | **0** | **3,960,184** | **△3,960,184** | (9) |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 当期末支払資金残高 | 11,353,000 | 18,004,614 | △6,651,614 | (10) =(8)+(9)<br>翌年度繰越金 |

1．『差異』について：「収入」、「収支差額」、「資金残高」における△（マイナス）は予算額より決算額の方が金額が上回ったことを表している。

2．収入について：

＊事業収入、NPO ガイダンス、貸出し機材利用料等。雑収入、夏！体験ボランティアの参加費、実習生の受入謝礼等。

3．支出について：

＊人件費支出、正職員 4 名、事務職員 3 名分。＊事務費支出、運営委員旅費、市民活動センターたちかわ通信の郵送代等

＊事業費支出、NPO 実務講座講師謝礼や機材リース料等 ＊共同募金配分金支出、市民活動センターたちかわ通信作成費等

＊助成金支出、市民活動センターたちかわ助成事業、支えあいサロン助成金等

# ３章　資料

## Ⅰ．平成 27 年度登録団体　（掲載 158 団体）

各団体の詳細は、市民活動センターたちかわのホームページをご覧ください。

URL：http://www.tachikawa-shakyo.jp/skct/

※大きく種類別のグループごとで表にし、表中では登録順に掲載。

**○障害のある人や高齢者、医療に関するグループ （46 団体）**

| 団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| アミーゴス | 知的障害児・者のマラソングループ |
| 「今を生きる！」難病の会立川 | 難病患者についての社会啓発を行うグループ |
| 特定非営利活動法人<br>いもっこの会 | 障害のある方が働く場 |
| いろりん | 障害のある方の就労支援 |
| 片麻痺ネットワーク | パソコン教室の実施 |
| 花音 | 障害当事者によるリサイクルショップ経営 |
| 聞き書きボランティア・多摩 | 高齢者の話を聞き、記録し小冊子にして贈る活動 |
| 「クローバーの会」 | 聴覚障害のある方の理解と手話技術の向上 |
| 特定非営利活動法人<br>ケア・センターやわらぎ | 高齢者・障害者への介護保険サービスや自立支援サービス事業等 |
| 国立病院機構　災害医療センター<br>ボランティアの会 | 外来患者の受付・案内サポート |
| 特定非営利活動法人　こぶしの会 | 知的障害のある方が働く場 |
| 特定非営利活動法人　こらそん | 障害のある方と障害のある子ども対象の余暇支援活動 |
| 在宅ホスピスケア・<br>ボランティアさくら | ホスピスケアを受けている患者やその家族のサポート |
| 三多摩市民後見を考える会 | 成年後見制度の学習と啓蒙・普及活動 |
| 特定非営利活動法人<br>自立生活センター・立川 | 障害のある方が自分らしく生活するためのピア支援活動 |
| 社会福祉法人<br>すみれ会　柏の葉 | 障害のある方が働く場 |
| ダウン症児の家族の会<br>「たっちっちの会」 | ダウン症児の家族同士による情報交換や悩み相談 |
| 特定非営利活動法人<br>たすけあいワーカーズ　パステル | 家事援助・介護・子育て支援や地域活動の実施 |
| 立川市視覚障害者福祉協会 | 視覚障害のある方自身による社会参加推進活動 |
| 立川市肢体不自由児・者<br>父母の会　たつのこ | 肢体不自由児とその親のための交流活動 |
| 立川失語症さくら会 | 脳卒中や交通事故の後遺症者の回復支援活動 |

| | |
|---|---|
| 立川手話こぶしの会 | ろう者との交流や手話技術の向上、ろう者の問題を共に考える |
| 立川市手をつなぐ親の会 | 市内在住の知的障害児・者の福祉増進と援助活動 |
| 立川市朗読サークル「こえ」 | 視覚障害のある方のために録音テープや CD を製作 |
| 社会福祉法人東京都同胞援護会<br>立川福祉作業所 | 知的障害のある方が働く場 |
| 特定非営利活動法人<br>立川マック | 依存症回復のためのプログラム活動 |
| 特定非営利活動法人たんとの会<br>立川けやき福祉作業所 | 知的障害のある方が働く場 |
| 特定非営利活動法人　たんぽぽ | 障害のある方が働く軽食・喫茶店 |
| 中途失聴・難聴者<br>「つばさの会」立川 | 高齢者や聴覚障害のある方同士の交流の場 |
| 特定非営利活動法人　テイクオフ | 知的障害のある方の余暇活動の場 |
| 東京立川断酒新生会 | 仲間と共に酒害からの回復を目指すグループ |
| ボランティアグループ“木苺” | 柏地域サービスセンター(高齢者デイ)でのボランティア活動 |
| 遊木会 | 工芸品を制作し、障害がある方の自立を促すサポート |
| ユニベールボランティア東京 | 高齢者による高齢者のための話し相手活動 |
| ラッキークローバー | 知的障害児を持つ家族として余暇活動や勉強会を開催 |
| 特定非営利活動法人<br>介護派遣事業　みんなの広場 | 障害がある方の支援活動を行っている |
| 立川点字サークル | 視覚障害のある方のための点訳活動 |
| 特定非営利活動法人　トモニ | 主に精神障害者の方の働く場の提供や就労を支援 |
| 障害児教育支援ネット | 障害児への支援者の人材育成 |
| 社会福祉法人至誠学舎立川<br>ワークセンターまことくらぶ | 障害のある方の働く場 |
| 特定非営利活動法人<br>ガイドヘルプサービスあい | 障害のある方のためのサービス事業 |
| 立川手話友の会 | 日本手話の学習会、ろう者の理解を深める |
| 特定非営利活動法人<br>立川市障害者後援会 | 障害者を正しく理解していくための啓発活動 |
| 立川市聴覚障害者協会 | 聴覚障害者の社会的地位向上のための啓発活動 |
| 立川精神障害者家族会<br>（立川麦の会） | 精神障害児・者の福祉増進と援助活動 |
| オストミー立川つむぎの会 | 内部障害に関する啓発活動や情報交換会の開催 |

**〇こどもや子育てに関するグループ （32 団体）**

| 団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| With ママ | 東日本大震災の子育て支援のためのフリーマーケット |
| エル・ソレイユ<br>「やさしい時間プロジェクト」 | 「優しい時間」シリーズの企画展開 |
| おはなしたまご | 読み聞かせのグループ |
| 学ボラの会 | 地域の小中学校への学校支援ボランティア |
| 特定非営利活動法人<br>教育支援協会　東京西 | 小学生を対象としたアフタースクールの運営 |
| ぐる～ぷあゆみ | 障害児・者のための布絵本の作成活動 |
| ぐる～ぷ遊楽子 | 子ども向けのお話会の開催や布絵本作成 |
| 子育て交流ひろば<br>立川おもちゃ図書館ぱれっと | 障害のある子もない子も利用できるおもちゃ図書館、交流ひろば |
| 子育て支援ボランティア<br>ミニトマの木 | 子育て支援、見守り保育ボランティア |
| 子どもの未来を考える会 | 子どもたちへの学習支援活動 |
| 非営利団体「Sawaka　Lab」 | 育児を抱え込まず、周りのママや地域と共に育児をする環境作り |
| 市民型ソーシャルワーカー<br>ほっとほっとたちかわ | 傾聴を中心にした子どもと家庭のための訪問支援活動 |
| 特定非営利活動法人<br>市民共同学習プロジェクト<br>子どもひろば | 子どもが自分を守る力をつけるための出前講座や不登校児支援 |
| すくすくフォローグループ | 小さく生まれた子と親への支援活動 |
| スマイル | 若葉町での親子グループ活動 |
| 立川マザーズ | ひとり親家庭の母子・父子等の交流親睦活動 |
| たまがわ・みらいパーク<br>企画運営委員会 | 子どもを中心とした遊び場・学び場の運営 |
| 特定非営利活動法人<br>東京賢治の学校 | シュタイナー教育をベースにした自主学校 |
| 和みアカデミー | 幼児から大人までを対象とした各種教室の開催 |
| 社会福祉法人　西立川児童会館 | 18 歳までの子どもを対象にした自由な遊び場活動 |
| はぐはぐ | 子育て中の親が語り合い、子どもたちが安心して遊べる居場所活動 |
| パドマ | 子ども連れで参加可能なヨガサークル |
| 福島と立川の子どもたちの会 | 福島の子どもたちを対象に被災地支援を行うグループ |
| ボーイスカウト立川第 10 団 | 子ども達の健全な成長のために指導者のもとにスカウト活動 |
| 夢たち応援団 | 「夢育て・たちかわ　子ども 21 プラン」の推進、バックアップ |
| ワッカチッタ | 0 歳～未就学児の親子を対象に孤立化防止や社会参加を促す活動 |

| | |
|---|---|
| ママの杜 | 母親のための情報交換、講座開催 |
| 特定非営利活動法人<br>立川子ども劇場 | 子どもたちに演劇・音楽・芸術などの文化的体験を提供 |
| 子育て・いれかわりたちかわり<br>実行委員会 | 子育て支援に関するイベントの開催 |
| あそびましょうの会 | 親子でふれあう時間のイベント企画・開催 |
| 特定非営利活動法人<br>ゆいま～る | 障害児の放課後等デイサービス事業 |
| Dear　Mother | 親子向けの交流会やフリーマーケットの開催 |

**○環境に関するグループ （9 団体）**

| 団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| 特定非営利活動法人<br>グリーンサンクチュアリ悠 | 樹林の保全活動 |
| 特定非営利活動法人<br>集住グリーンネットワーク | 緑豊かなまちづくりのための環境教育や雑木林保全活動等 |
| 小水力発電交流会・三多摩 | 小水力発電の啓発活動 |
| 砂川・鳴く虫　愛好会 | 「鳴く虫」など昆虫の生息区域を確保し保存していく活動 |
| たちかわエコパートナー | 清掃活動や環境学習講座の開催 |
| 立川かんきょう市民の会 | 親子の自然体験学習や環境イベントの実施 |
| 玉川上水の自然保護を考える会 | 玉川上水の自然保護活動 |
| 特定非営利活動法人<br>バイオマス産業機構 | CO2 削減にかかわる環境整備事業・社会教育・人材育成 |
| 特定非営利活動法人<br>武蔵野の里作りクラブ | 昭和記念公園内で武蔵野の農村風景再現と体験活動 |

**○文化・スポーツに関するグループ （32 団体）**

| 団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| 歌扇会 | 福祉施設等で歌や踊りのプログラム提供 |
| えむず柴崎 | アルファ波音楽に合わせ、バンドを使ってのエクササイズ |
| エムズはっぴぃ | アルファ波音楽に合わせ、バンドを使ってのエクササイズ |
| エムズ若葉 | アルファ波音楽に合わせ、バンドを使ってのエクササイズ |
| 特定非営利活動法人<br>円十字協力 | 氣功教室を通じて、アジアの学生を支援 |
| キネマたちかわ | 優れた映画の自主上映サークル |
| シャンティ | 女性の身体を考えたヨガサークル |
| キューティー・コア | 誰もが参加できるエクササイズ活動 |

| | |
|---|---|
| そば打ち友の会 | そば打ち技術の習得と福祉施設などでのそば打ち体験 |
| 立川親と子のよい映画をみる会 | 良質な映画の定例上映会 |
| 立川市ラジオ体操協会 | ラジオ体操を通じた健康で明るい地域社会づくり |
| 多摩 fun アート | 重度障害者の臨床美術に関する創造活動 |
| 多摩ミュージック 21 | 子ども、障害者、高齢者を対象に良質で安価なコンサートを開催 |
| 中高年ミュージカルパフォーマンスぐるーぷ たっきぃ | ミニミュージカルとパフォーマンスでボランティア公演を中心に活動 |
| 虹の音楽隊 | 高齢者や児童施設、地域イベントでの演奏活動 |
| 日本書を選定して読みあう会 | 日本書の価値観を読書会を通して広める活動 |
| 八舞て会 | 高齢者施設や地域イベントで日本舞踊、民謡踊りを広める活動 |
| ハワイアングループ | 高齢者施設や地域イベントでハワイ文化を広める活動 |
| プルメリア・フラグループ | 高齢者施設や地域イベントでハワイ文化を広める活動 |
| 文化・芸術いきいきネットワーク（通称 CAN） | 高齢者施設へのアクティビティの提供と支援 |
| みんなの展示場 中村洋久絵画館 | 絵画や手作り作品の無料展示、観覧、教室の開催 |
| らくらくヨガ | ヨガ教室 |
| 和太鼓 「趣」 | 地域のイベントで和太鼓の演奏、交流 |
| 石田倉庫の住人 | アート・クラフトの体験教室や地域イベントの開催 |
| シネマ 16 | 定例映画会・映写機学習会 |
| 立川まちおん | ストリートミュージシャンを主としたライブ、コンサートの実施 |
| 南京玉すだれアーチストの会 | 南京玉すだれの習得と普及活動 |
| 本町 | 介護施設、幼稚園、病院でのお囃子演奏活動 |
| まぁスタイル | 簡単に行えるバンド体操 |
| まぁ～と仲間たち | 中高年の健康と病気予防のためのバンド体操 |
| フラワーセラピー花ことば(立川) | 高齢者施設などでのフラワーセラピー教室の開催 |
| 特定非営利活動法人 スポーツ業界おしごとラボ | スポーツ業界を目指す方への支援、勉強会の開催 |

**○多文化共生に関するグループ （4 団体）**

| 団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| 立川国際友好協会 | 在住・在勤外国人のための日本語教室 |
| 特定非営利活動法人 たちかわ多文化共生センター | 外国人のための相談受付や多文化共生イベントの実施 |

| | |
|---|---|
| 特定非営利活動法人<br>日本ネパール友好協会 | 日本在住ネパール人の生活支援や就労支援 |
| 国際教育文化交流<br>ビエンベニート会 | スペイン語教室や地域交流イベントの実施 |

**〇地域づくり・まちづくりに関するグループ （26 団体）**

| 団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| sSLc　セフティーライフ | 防災、音楽、美術等のボランティアを通して、住みよい社会作りを行う |
| 愛犬パトロール　グループの会 | 愛犬を伴った防犯活動や地域環境美化活動 |
| 牡鹿半島を支援する会 | 宮城県牡鹿半島を中心に、支援物資の提供や復興支援を行う活動 |
| グッドネイバー　西砂・一番 | 町内で「良き隣人」として人と人をつなぎ支える活動 |
| ぐるーぷ 「たけのこ」 | 使用済み切手の整理 |
| 特定非営利活動法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会 | コミュニティレストランや地域の居場所づくり事業 |
| 栄町地区<br>グッドネイバーをすすめる会 | 町内で「良き隣人」として人と人をつなぎ支える活動 |
| 栄町猫対策委員会 | 地域ネコの保護・管理 |
| 特定非営利活動法人<br>さんきゅうハウス | 路上生活者への炊き出し、物資配布等の支援活動 |
| シニアパソコン教室 | 「ゆっくり、優しく」をモットーに、パソコンの使い方を学びあう教室 |
| 柴崎町地区<br>グッドネイバー推進協議会 | 町内で「良き隣人」として人と人をつなぎ支える活動 |
| 市民のひろば憲法の会 | 憲法集会や社会問題に関する学習会の開催 |
| 立川市アマチュア無線クラブ | 無線作りを通しての市民交流の場 |
| 立川市災害ボランティアネット | 関係機関と連携した防災、減災活動 |
| たちかわ市民みらい会議 | 市民による市制参画、条例策定推進、勉強会等を行うグループ |
| 多摩生きがいづくり協議会 | 世代間を超えた地域の交流の場作り |
| にゃんにゃん | 地域ネコの保護・管理 |
| フリー談話室さぼう | 誰もが利用できる談話室の運営 |
| 若葉町の福祉を考える会<br>グッドネイバー若葉 | 町内で「良き隣人」として人と人をつなぎ支える活動 |
| 若葉町ボランティアグループ | 高齢になって外出が少なくなった方たちの仲間づくり |
| 錦法律を知る会 | 日常生活に関わる法律の普及啓発活動 |
| 地域福祉ボランティア | 地域福祉の推進及び向上のための活動 |
| 東京にしがわ大学 | 誰もが参加できる学びの場 |
| ふじみ Cats ボランティアの会 | 地域ネコの保護・管理 |

| | |
|---|---|
| MOA こぶしの会 | 心身ともに健康なまちづくりを目指した活動 |
| 曙・高松憲法学習会 | 憲法に関する学習会の開催 |

**〇いろいろな相談事業に関するグループ （9 団体）**

| 団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| 特定非営利活動法人　市民活動サポートセンター・アンティ多摩 | 市民活動団体や個人へ向けた情報誌作成や活動支援 |
| (学習とボランティアの会)<br>たちかわパソコン倶楽部 | 初心者を対象にした無料相談会や福祉施設での講座実施 |
| パソコン相談員研究会 | 初心者を対象にした相談・講習会の実施 |
| 特定非営利活動法人　ライブリー | 家庭内の問題についてのカウンセリングや法務相談事業 |
| ネットワーク・市民アーカイブ | 市民アーカイブ多摩の運営や市民活動資料の普及活動 |
| 認定特定非営利活動法人<br>育て上げネット | 若者の就労支援事業 |
| チャイルドラインたちかわ | 18 歳までの子どもを対象とした電話相談活動 |
| リカバリーカレッジ　たちかわ | メンタルヘルスを抱える当事者や家族への活動 |
| 特定非営利活動法人<br>認知行動カウンセリング研究会<br>(カジュアルストレスケアそれいゆ) | ストレスに関するカウンセリングや講演会などの開催 |

## Ⅱ. 平成 27 年度登録サロン （掲載 149 ヵ所:）

町名は主な活動拠点を指す。分類ごと、登録順。

| サロン名 | 活動内容 |
|---|---|
| 【高齢者関係】 （122 ヵ所） | |
| さき織りボランティアグループひめりんご /若葉町 | さき織りを中心とした交流 |
| サラおしゃべり会 /若葉町 | 茶話会や企画の開催 |
| 若葉町ボランティアグループ /若葉町 | ミニデイサービス |
| はなみずき /幸町 | 茶話会 |
| 健康麻雀友の会 /若葉町 | 健康麻雀 |
| 松中団地みんなのサロン会 /一番町 | 話し合い、茶話会 |
| いきいきサロン /栄町 | 健康体操 |
| 福祉あすなろ会 /富士見町 | 散歩及び切手整理等 |
| 栄サロン /栄町 | ヨガ |
| さゆりの会 /幸町 | ストレッチ体操 |
| たんぽぽの会 /泉町 | 太極拳、茶話会 |

| | |
|---|---|
| 麦 /西砂町 | 茶話会・手芸、お菓子作り |
| あら七あらっ八 /高松町 | 茶話会、おしゃべり |
| 健康体操サークル /高松町 | 健康体操と学習 |
| 伸和会グループ /栄町 | 健康体操、お話 |
| ひまわりの会 /富士見町 | 書道を通した身体障害者のリハビリとケア |
| 編み物サークル /若葉町 | 編み物 |
| 健康体操スロー会 /高松町 | 健康体操 |
| すみれの会 /富士見町 | 健康体操 |
| 上砂体操クラブ /上砂町 | 健康体操 |
| 熟年男性料理の会 /幸町 | 料理 |
| わかば麻雀くらぶ /若葉町 | 健康麻雀 |
| みんなのサロン /富士見町 | 健康体操、茶話会、食事会 |
| 麻雀クラブ花ショーブ /高松町 | 健康麻雀 |
| 創年クラブ /上砂町 | 体操、脳トレ、茶話会 |
| ヨーガ 60 /錦町 | 60 代の女性を中心とした初級ヨガ |
| こんぴら体操クラブ /砂川町 | ウォーキング |
| HOT サロン /高松町 | 体操、ボランティアによる余興、おしゃべり |
| 桜 /栄町 | 健康体操 |
| 南部健康サロン /栄町 | 健康体操 |
| 楽々太極拳 /一番町 | 太極拳、茶話会 |
| 健康体操クラブ /曙町 | 健康体操 |
| エステート・暮らしの相談室 /一番町 | 喫茶、簡単な修理・家事のお手伝いを行う |
| トリム体操上砂スマイル /上砂町 | トリム体操 |
| プラザシティ体操クラブ /曙町 | 健康体操 |
| 上砂たのし会 /上砂町 | 踊り、唄、茶話会 |
| 生き生きすみれグループ /若葉町 | 健康体操 |
| トリム体操さくらクラブ /一番町 | 健康維持、体力増進のための体操 |
| 高松おしゃべりサロン /高松町 | 茶話会 |
| きらきらサロン /砂川町 | 茶話会 |
| よつ葉グループ /若葉町 | 健康体操 |
| すまいるサロン /栄町 | 食事会 |
| 檜山さんちのえんがわ /上砂町 | 茶話会・交流会 |
| 上砂フレンド /上砂町 | 生き生き体操 |
| 杜のつどい /若葉町 | 体操、茶話会 |
| なかよしサロン /栄町 | 食事会 |
| らくらくヨガ /若葉町 | ヨガ |

| | |
|---|---|
| けやき台ものづくりの会 /若葉町 | 手芸 |
| けやき台歌とおしゃべりの会 /若葉町 | 歌、おしゃべり |
| ふれあい喫茶 /一番町 | 茶話会、おしゃべり |
| 紬 /曙町 | 手芸、体操、茶話会 |
| けやき台生き生き体操教室 /若葉町 | 健康体操 |
| ひまわり仲良し会　/上砂町 | 料理、脳トレーニング、歌、絵手紙 |
| ３丁目の安田さん家 /柏町 | おしゃべり |
| 幸ふれあいサロン /幸町 | 食事会 |
| たんぽぽ /上砂町 | 健康体操 |
| けやき茶屋 /西砂町 | 茶話会 |
| 幸ストレッチ教室 /幸町 | ストレッチ体操、リズム体操、筋トレ、茶話会 |
| カフェえのしま /栄町 | 茶話会 |
| コープタウン一番会 /一番町 | 体操 |
| サロンこてまり /一番町 | 茶話会、脳トレ体操、ものづくり、唄 |
| 乙女の会 /砂川町 | 体操、手芸、フラワーアレンジメント |
| トリム体操にしすなクラブ /一番町 | トリム体操 |
| トリム健康体操コスモス /一番町 | 健康体操 |
| ゆるゆる体操　/若葉町 | 体操 |
| ロコトレ /若葉町 | 体操 |
| ぴんぴん体操錦同好会 /錦町 | 体操 |
| りんどうの集い /栄町 | 健康体操 |
| 三四体操会 /錦町 | 体操 |
| 遊亀の会 /幸町 | 体操 |
| トリム体操フレッシュ /西砂町 | トリム体操 |
| ミントの花 /幸町 | お茶会・折り紙 |
| 健康ヨガさくらんぼの会 /上砂町 | 健康ヨガ |
| ピッコロ /砂川町 | 健康体操 |
| やすらぎグループ /若葉町 | 茶話会、カラオケ、ウォーキング |
| ほのぼの /砂川町 | 体操 |
| それいゆ　/若葉町 | 健康体操 |
| さつき　/幸町 | きり絵 |
| けやき台いきいき体操水曜グループ　/若葉町 | いきいき健康体操 |
| せせらぎサロン　/柴崎町 30 | 茶話会 |
| 元気会書道部　/高松町 | 書道 |
| なかよし会　/幸町 | 茶話会、ぬり絵 |

| | |
|---|---|
| くるみ　/栄町 | 講和会 |
| 立川そよかぜトリム　/西砂町 | 椅子に座って行うトリム体操 |
| マザーツリー　/栄町 | 笛の練習、おしゃべり会 |
| スマイル体操　/羽衣町 | ヨガ |
| けやき太極拳　/若葉町 | 太極拳 |
| きずな　/羽衣町 | 茶話会、昼食づくり、ボランティア |
| つどい　/羽衣町 | ゲーム、体操、食事会 |
| イレブン・ピア　/上砂町 | もの作り、カラオケ教室 |
| けやき台生き生き体操教室金曜グループ　/若葉町 | 健康体操 |
| 健幸たいそうアントレ　/富士見町 | 健康体操、介護予防運動 |
| あいのて　/富士見町 | 手作り教室 |
| 介護家族の会　大空　/上砂町 | 茶話会、家族介護の悩み・OB の経験を聞く |
| 曙 3 都自治会わくわく体操教室　/曙町 | 体操 |
| ひだまりサロン　/西砂町 | 認知症や介護予防のための体操、脳トレ、茶話会 |
| 桜グループ B　/栄町 | 健康体操 |
| ささのは会　/錦町 | 健康体操 |
| 健康体操歩みの会　/富士見町 | 健康体操、介護予防体操 |
| はづき健康体操会　/羽衣町 | 健康体操 |
| リーベストお気軽カフェ　/上砂町 | 茶話会、くらしに役立つ学習会 |
| うたう会　/一番町 | 日本の唱歌、名曲を歌う |
| サロンコスモス　/一番町 | パステル画 |
| 錦和体操クラブ　/錦町 | 健康体操 |
| 脳トレ・健康増進サロン　/緑町 | 健康麻雀、茶話会 |
| みのわ体操教室　/羽衣町 | 健康体操 |
| 新聞を読んで　/柴崎町 | 茶話会 |
| 粗茶の会　/羽衣町 | 茶話会 |
| リラックスヨガ　/上砂町 | ヨガ |
| リセット体操　/西砂町 | 体操 |
| お氣軽体操の会　/若葉町 | 健康体操、脳トレ |
| はごろも健康体操同好会　/羽衣町 | 健康体操 |
| チューリップ　/富士見町 | 健康体操 |
| かきの木会　/羽衣町 | 茶話会 |
| １の南ささえ愛サロン　/曙町 | ストレッチ体操、脳トレ、茶話会 |
| はなみずき　/幸町 | 体操 |
| あけぼの健康体操　/曙町 | 体操 |

| | |
|---|---|
| あけぼの歌の会　/曙町 | 懐かしい歌、恋の歌を楽しく歌う |
| ひまわり体操クラブ　/一番町 | 健康体操 |
| 気功太極拳　/上砂町 | 太極拳 |
| ＢＢＰ | パソコン勉強会 |
| いずみ会いきいき体操サークル | 健康体操 |

**【子育て】（25ヵ所）**

| | |
|---|---|
| スキップママ /富士見町 | 体操・料理・クラフト・子育て講座 |
| スマイル　/若葉町 | 茶話会 |
| はぐはぐ　/若葉町 | 子育てカフェ、エクササイズ |
| じゅんじゅん /錦町 | ダンス、勉強会、子育て活動 |
| ナチュラ　/柴崎町 | 親業の講習会や自主学習会 |
| ヨガサークル　Namasute /柴崎町 | 健康づくりのためのヨガ |
| 寅の子会 /幸町 | 情報交換、体操 |
| シャンティ /富士見町 | ヨガ、情報交換 |
| レインボー　/若葉町 | おしゃべり、英会話 |
| らびどらの会　/幸町 | 子育ての情報交換会 |
| にょろりん　/幸町 | 子育てサークル |
| へびまる　/高松町 | 茶話会、子育てに関する学習、体操 |
| ヨガサークルヨガ　/西砂町 | ヨガ |
| もぐもぐ　/幸町 | 懇談会、季節イベント |
| JAJA うま　/栄町 | 茶話会、ベビー体操 |
| スプリングベイビー　/錦町 | 情報交換・子育ての悩み相談 |
| ヨガサークル ange　/富士見町 | 子連れヨガ、お弁当会 |
| サンクタス幼児体操教室　/緑町 | 幼児向け体操教室 |
| メリッポニー　/幸町 | 親子のレクリエーション、茶話会 |
| パンプキン　/幸町 | 子育てサークル |
| レインボーマム　/高松町 | 茶話会、親子ヨガなどのイベント |
| KEYADAN　/若葉町 | ダンス、ストレッチ |
| ふわりんこ　/幸町 | 茶話会、情報交換会 |
| ちびＴＡＴＳＵ | 子育て情報交換 |
| たちかわまみーくらぶ | 茶話会 |

**【その他】（2ヵ所）**

| | |
|---|---|
| サンクタスもう一つの居場所/緑町 | おしゃべり |
| シャンティビージャ　/曙町 | 健康のためのヨガレッスン |